大正九年十月二十四日第三種郵便物認可

康德六年（昭和十四年）十二月三十日　新京日日新聞　（土曜日）　第六千九十七號　（一）

新京日日新聞　夕刊　十二月二十九日

發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社　電話三―二五・三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　和波濃
印刷人　水越内之介

國内問題において退陣する事なし

首相　五黨首確約に期待

【東京國通】阿部首相は衆議院における各派有志の内閣不信任的態度に對し、政府に課せられた唯一の使命は事變處理の完遂にあり、從つて現内閣は他の理由によつて辭任するが如きことは考へてゐない旨述べて事變處理に邁進する決意を明確にし、衆議院における反政府的空氣は議會再開までには變化するものとみて事態をしばらく靜觀し局面打開についてことさらに五黨首會談等によつて諒解工作等を行はざることを言明し、專ら局面の轉換に期待してゐるが、この首相の意圖は過般來前後二回にわたつて開かれた五黨首との會談において事變處理について協力的態度を示された政黨側首腦部の確約に信頼し、近く新政權の誕生によつて事變處理が新段階に入らんとする重大なる時期にあつてこれと不可分關係にある國内問題において退陣するが如きことはあり得べからざるところであるといふ所信に基いたものとみられ、局面の打開を政黨首腦の政府に對する確約に基く誠意に期待してゐるやうである【寫眞は阿部首相】

首相所信を披瀝

【東京國通】阿部首相は廿八日の臨時閣議に於て衆議院の各派有志代議士會より政府善處要望の決議を手交された顛末を報告の後首相として左の如き事變處理に邁進する旨所信を披瀝し政府の態度を明かにしたが政府は事態に鑑み明春一月四日の初閣議は例年宮中に於て形式的に會合することになつてゐるのを特に首相官邸に開催、對政黨關係のその後の情報を持ち寄り對時局策につき重要協議を遂ぐることゝなつた

政府は飽く迄事變處理を中心として政務を遂行するの決意は組閣當時と何等の變更なく今後もこの所信に向つて邁進して行く方針である

首相、元旦放送

【東京國通】阿部首相は明春元旦午前九時首相官邸より約五分間ラヂオを通じて支那事變處理特に支那新中央政權問題並に對内外諸問題に關して所信を披瀝し、紀元二千六百年を迎へるに至り戰時下國民の覺悟につき全國に放送することになつた

衆議院各派實行委員會協議

【東京國通】衆議院各派實行委員會は廿八日午後二時廿分衆議院議長官舍に開會、民政黨齋藤、小檜、政友中島派倉元、上田、木村、窪井、政友久原派牧野、深澤、名川、社大川俣、三宅、淺沼、時局同志會田中、清瀨、赤松、高岡の各委員出席、今後の運動方針につき協議に入つた

下野大尉戰死

【漢口廿八日發國通】木村部隊下野勝太郎大尉は十五日拂曉漢水戰線多寶灣南方に於て敵の背側を急襲、曉の突擊戰の陣頭に立つて奮戰中數彈を身に受けて壯烈な戰死を遂げた旨廿八日發表された、下野部隊長は陸士第卅期、佐賀縣出身で本年八月以來漢水戰線で活躍中であた

熱血、和平に貢獻

汪精衛氏所信を闡明

【上海廿八日發國通】新中央政權樹立を目前に控へ和平救國運動に邁進しつゝある汪精衛氏は昨年十二月廿九日香港に於ける第一次聲明發表後滿一年を迎へたのを機に廿九日付を以て聲明を發し歐洲動亂勃發以來の新情勢下における中國和平救國運動の眞意義を披瀝し熱血愛國の眞情を吐露した聲明内容左の如し【寫眞は汪精衛氏】

昨年の

今日余が第一次聲明を發表してから滿一ヶ年となつた、茲一年來の日支双方の輿論を見るに日本側では近衛聲明以來全國の輿論は一致するに至つた、日本は中國の主權を尊重しその獨立完成を援助しこの任務の分擔を可能ならしめんとして居る、支那側では一部に抗戰道程最後の勝利を誇稱するものがあるがこれは虚僞であり壓迫によつて已むを得ず叫んで居るものである、以上の事實に基き余は和平運動の理論は成熟し和平運動の成功は必然に增大することを確信するに至つた、目下殘された問題としては和平の原則を如何にして具體的に實現すべきか、和平の法案を如何にして完成すべきかの諸問題がある、余は抗戰道程最後の勝利を主張する諸君に對し一言したい、諸君のかゝる言動は決して正當な話ではない最後の勝利が漂茫として居るのは諸君自らが深く知つて居る筈である、まづ國際情勢について言へば諸君は以前に次の如き人民戰線論を聞かされた、反侵略戰線と侵略戰線は必然的に合戰すべきでありその結果は反侵略戰線の勝利に歸する、その勝利の結果は必然的に

中國を

援助し日本を制裁する、故に中國は飽くまで抗戰により最後の勝利を得なければならぬと、併しかゝる漠然たる論據は一年前より數回に亘つて反駁した、歐洲大戰發生によりこれは事實によつて證明され、われわれは最早や反駁する必要がなくなつた、この際歐洲の交戰國家は何れも自分を顧み他を援助する暇がない、而して彼等は先づ日支事變に對しては先づ日本の歐洲大戰に對する態度如何を見んとしてゐる、諸君は以上に述べたことをもう一度熟考すれば抗戰最後の勝利を國際援助に期待することの如何に無益であるかを知るであらう、また國内情勢について言へば一年以來幾多の兵と土地を失つた、これはもとより痛心に堪へない、最も歎かはしき小さな勝利を誇張して大敗を覆ひ隱したことだ、小勝は決定的勝利ではない況んやこれを誇張して人民を欺瞞することは言語道斷である、大規模の攻勢は言ふまでもなく焦土遊擊戰にしてもそれらは單に騷擾に過ぎないこの騷擾たるや效果少く消耗極めて大である、國力、民力に發し民力が盡きればこれに從ふ、抗戰

國家も

貫徹最後の勝利は言ふも愚かである、中國は現在途がない、和平を除いては進むべき途がない、殘されたるものは唯和平の原則が實現出來るか否か、和平の方案が完成するか否かの問題である、民國革命はまた單に國内的改革に過ぎないものであつたが現在の和平運動は中國は日本と提携してはじめて中華民國の建設を完成することが出來東亞保障を共同負擔することが出來るのであつて民國革命に比し更に偉大な工作である、吾々は唯和平のみが絶對必要であることを認め一切を顧みず奮鬪すればよいのである、たとへ一時は蹉跌また失敗してもこれは他日の基礎になるものであり少しも意に介する必要はない、或る人は余に向つて具體的條件を得てはじめて和平運動をなすべきではないかと言ふが余はこの説には全幅的に贊成しない、何となれば具體的和平條件は必要であるが、しかしその獲得は和平運動に俟つものがあるからである、余は今日かつて余と共に

飛行機

に乘り重慶を脱出した同志曾仲鳴や最初に勸告した同志沈崧のことを想へば余が今日なほ生きながらへてゐることは慚愧に堪へない、余は有り餘る熱血をもつて和平運動に貢獻せんことを誓ふものである

市民講座　家庭防犯に就て（四）

首都警察廳司法科長　谷口新次

次は強奪でありますが、強奪は先に申した通り暴行又は脅迫を加へて、物を強奪する犯罪であります。暴行とは、殴るとか縛り上げるとか、人の身體に對して暴力を加へることであり、脅迫とは拳銃や出刃庖丁などを、つきつけるとか其他威力を示して震へ上らせ、人の意思の自由を奪ふことであります。強盜は動もすると、殺人、傷害、強姦と謂ふやうな犯罪にも及び易いので最も危險であります。

強盜には、大別して、深夜屋内に侵入するものと、銀行や店舗の營業時間中にその營業所等を襲ふものと戸外に於て通行者を襲ふものとの三種に分けることが出來ます。

深夜屋内に侵入する強盜は、日本内地には、此の方法によるものが一番多く、之が強盜の典型的なものになつて居りますが先に「のび」のところで、述べたと同樣の理由により、滿洲に於ては内地程多くはないのであります。また之が豫防も「のび」の豫防について述べた事項を遵守すれば大體防止出來るのであります。營業時間中に營業所を襲ふ強盜は、其の規模の大きなものを「ギャング」と申して居りますが、滿洲には、この所謂「ギャング」に類した強盜が、從來非常に多かつたのであります。新京では、このところ暫く跡を絶つて居りますが、最近地方に於ける治安が確立するに伴れ、分散した匪賊が隙を窺つて市中に潜入しつゝありますから、油斷は決して出來ないのであります。

□　□

此の種の兇惡なる犯罪の防止は、固より我々警察の仕事であつて、一般人が之を豫防することは、相當困難な事情にあるのでありますが、例へば店頭で現金を扱はぬとか、嚴重な金庫を設備するとか、事件の起つた際直ちに急を報ずる施設を講ずるとか、要するに犯人をして乘ずる隙を與へないことによつて、或程度迄之を防止し得るのであります。屋外に於ける強盜は、所謂剽盜（追剝）でありまして、人通りの寡ない所を擇し、又は人通りの寡い所に誘導して、所持品又は衣服等を強奪するのであります。新京の郊外には今尚之が跡を絶ちません。此の犯罪は、婦女子が被害者である場合には、強姦及殺人を誘發することがあります。人通りの寡き箇所の――特に夜間に於ける――婦女子の獨り歩きは嚴に愼んで貰ひ度いものであります。

□　□

次は殺人であります。殺人の原因――或は動機――には或は痴情關係に基くもの、或は怨恨關係より來るもの、或は強盜に基因するもの、或は偶發的に行はるるもの等色々の場合がありますが、その原因の異るに從つて之が、防犯上の對策も亦同一ではないのであります。一般的に謂へば、被害に罹る樣な原因を作らぬこと及犯人に乘ぜられる樣な隙を見せないことであります。即ち痴情又は怨恨に基く殺人は、被害者自らその禍根を作つてゐる場合が多く、強盜に基くもの及偶發的に行はるゝものの中には被害者側の隙が、犯罪の誘引をなしてゐる場合が多いのであります。

家庭に於ける注意としては、各家庭の事情によつて色々ありませうが、先に申した夜間に於ける戸締の注意、婦女子の外出時の注意の外、身許の確實でない煖房炊きやボーイを雇入れぬこと、雇人は之を苛酷に扱はぬこと、御用聞き等を罵詈しました之等の者に大金を見せないこと、婦人の肌や寢姿等を見せないこと、氣質の知れない滿人御用聞等に半可通な言葉で必要以上に慣れ〳〵しい口を聞かないこと、入口は常によく施錠し、訪問者はよく確めた上でないと入れないこと等を守つて頂き度いのであります。大體この程度の注意を以て、人に接し物を處理して行けば先づ間違ひはないのであります。

□　□

次は詐欺でありますが、これは人を欺して物を出させることであります。新京には一般家庭を對象とする惡質の常習詐欺は、まだあまり見受けません、唯最近お寺を復興するから寄附をして吳れと謂つて、金を詐取して歩いた坊さんがあつた樣でありますが、寄附金の募集と謂ふやうな事は警察が無暗に許可するものではありません。若しそう云ふ事を謂つて、寄附を集めて歩く者がありましたならば、早速警察に御報せを願ひ度いのであります。それから、之は特殊の場合でありますが、警察を利用する詐欺があるのであります。何かの事件で、警察に引つ張られた樣な場合に、早速その留守宅にやつて來て、運動をしてやるからと云つて金品を出させ、之を詐取するのであります。引つ張られた人の家族や親戚が非常に困つて、溺れる者が藁をも掴みたい心理になつてゐるのに乘じて行ふ犯罪であります。犯人は甚だ言葉が巧みでありますから、被害者の方では、仲々被害に罹つてゐることに氣がつかず、假令氣がついても、表向にして自慢になる事でありませんから、つい泣寢入りになるのであります。この被害は滿人社會に特に多いのでありますが、日本人社會にも時々あるのであります。此の記事を讀まれる皆樣方の中には、事件で警察に引つ張られると云ふやうな人は、絶無であることを信じて居りますが、斯うした詐欺の手口もあると謂ふことを、御參考の爲めに申し上げて置きます。

□　□

それから最後に御願ひ申して置きますが、若し不幸にして被害に被りました時は、速かに御屆けを願ひます。特に重要犯罪即ち殺人傷害、強盜と謂ふやうな場合には、時を移さず非常配置をしなければなりませんので、一刻も早く御屆けを願ひ度いのであります。

又犯罪の現場は搜査の基礎となるものでありますから、係官が行つて檢證する迄は、決して手を觸れない樣にして、其の儘の狀態を保存されたいのであります。

新京に於ける日本人の大部分は、今迄内地の安穩なる環境に於て、世界最優秀なる警察の保護下に其の生活を營んで來たのでありますから、自らを護ると謂ふ觀念が甚だ稀薄になつて居るのであります。それが、人情、風俗、慣習の全く異る此の大陸に參りましても此の習癖が拔けず、依然として、開放的な、不要愼な生活態度を持してゐるのでありまして、新京に於ける日本人の防犯上の缺陷は、實にこの點に存するのであります。

市民の自警自衞心を振起し、之を驅つて防犯の陣營に參加せしめ、各種の犯罪を防遏して、眞に安居樂業の都を具現する事は、複雜微妙なる現下時局に於て、我々の爲すべき焦眉の急務なりと信ずるのであります。

幸にも、本年五月有志多數の努力により、全滿に魁けて新京防犯協會の設立を見、爾來犯罪の豫防檢擧の協力に、防犯思想の普及徹底に、着々其の效を收めつゝあります事は、國家の爲め洵に欣快に堪へない所であります。願はくは市民各位が、本協會の趣旨に贊し、積極的に之が支援を惜しまれざると共に、進んで之に加入せられんことを希望するものであります。以上色々御話申し上げましたが、犯罪の防止は、單に一身一家の安全を圖るのみならず、國家の治安保持に貢獻するところ大なるものがあるのでありますから、何うか日常の生活に最大の注意を拂はれまして、防犯の萬全を期せられんことを御願ひ致します。【完】

蚌埠で邦人慘殺

【蚌埠廿八日發國通】當地日貫通り二馬路二四二號カフエー蚌埠會館主人木藤嘉助（下關出身三九歳）及び内縁の妻重村ナツ（山口縣德山市出身五一歳）の兩名は廿八日早朝就寢中何者かの爲に慘殺された、檢視の結果被害者男は大工用手斧を以て頭部三ヶ所、女は眉間に一擊を受け即死し犯人はいち早く逃走、目下嚴探中なるも物取りの犯行と見られてゐる

中華航空、特殊會社となる

【北京廿七日發國通】昨年十二月十七日臨時、維新、蒙疆三政權の協定に依り創立された日支合辦中華航空株式會社は本年九月下旬五十萬圓の增資を行つたが、本月十日中華航空株式會社法令の公布により同法令に依る特殊會社としての形態を整備するため廿七日午前十一時より北京東交民巷銀行同業公會に於て株主總會を開き會社法令に基く定款の變更及び新役員の選任を行つた、同決議は直ちに同會社の監督機關たる聯合監督委員會の認可を受けここに中華航空會社は名實共に航空特殊會社として成立した、新役員の陣容左の通り

總裁兒玉常雄、副總裁辻邦助、同胡邴泰、理事安邊浩

敵損害總計三百萬

武漢陷落滿一ヶ年綜合戰果

【東京國通】陸軍では廿八日武漢陷落後における滿一ヶ年主要な綜合戰果及び事變發生以來敵に與へたる損害及び鹵獲品の數を發表した

大本營陸軍報道部發表＝昨年十月武漢三鎭陷落以來ここに滿一ヶ年を經過し皇軍は北支、中支及び南支の蜿蜒四千キロに亘る戰線において極めて執拗なる抗日支那軍の掃蕩に從事し一面帝國全土の二倍に餘る廣大なる占領地域内においてあらゆる困苦缺乏を克服して治安肅清に任じ以て蔣政權の覆滅と大陸建設の推進に努力して來たが、將兵の士氣は干戈久しきに亘つて益々軒昂として殉國奉公の念に燃えて一意聖戰の目的完遂に邁進中である、然るに一方支那軍は武漢失陷後軍の全面的再建に着手し窮鼠の勢ひを以てひたすら抗日に狂奔したのであつたが累次のわが猛擊により至る所その弱體ぶりを暴露し特に歐洲情勢の急迫に甚く第三國の援蔣行爲の後退に加ふるに新中央政權樹立機運の促進等より將兵の戰意喪失の情勢明瞭なるものがあり特に最近は冬季攻勢と號して又蟷螂の斧を振ふにも似たる政略的攻勢を策しつゝあるが固より到る所わが軍のために擊退せられ莫大の損害を被りつゝあり、重慶側が虚僞の宣傳によつてその成功を報じ列強の前に戰力未だ衰へざることを誇示せんとしてもその反響意の如くならぬことは笑止の至りと言はねばならぬ

一、武漢陷落後における滿一ヶ年餘の主要なる作戰の戰果を述べれば左の如くである、なほこの外に治安肅清のため寧日なき掃蕩戰が至る所繼續されつゝありこの努力の集積によつて治安の回復又大いに見るべきものがあることを記憶すべきである

イ、海南島攻略戰＝交戰敵兵力約一〇、〇〇〇、敵遺棄死體二、三〇〇、捕虜三〇〇
ロ、湖北省安陸作戰＝交戰敵兵力約一〇、〇〇〇、敵遺棄死體七五〇、捕虜八五八
ハ、江蘇省海州作戰＝交戰敵兵力約七ヶ師、敵遺棄死體六、一一七、捕虜
ニ、南昌攻略戰＝交戰敵兵力約廿ヶ師、敵遺棄死體一二、三〇〇、捕虜一、八七〇
ホ、湖北省北部襄東作戰＝交戰敵兵力約廿九ヶ師、敵遺棄死體一七、五〇〇、捕虜一、六〇七
ヘ、汕頭作戰＝交戰敵兵力約二、〇〇〇、敵遺棄死體六六〇、捕虜一〇七
ト、山西省濟安作戰＝交戰敵兵力約一三、六〇〇、敵遺棄死體一二、七〇〇、捕虜九九〇
チ、援蔣香港ルート遮斷作戰＝交戰敵兵力約一〇、〇〇〇、敵遺棄死體二、〇〇〇、捕虜一五
リ、漢湘作戰＝交戰敵兵力約四〇、〇〇〇、敵遺棄死體三八、四〇〇、捕虜三、七〇〇
ヌ、廣東省中山縣城掃蕩戰＝交戰敵兵力二、八〇〇、敵遺棄死體二五九、捕虜一〇
ル、前記のほか蔣介石は軍民の士氣を鼓舞し外援諸國に對し黨軍の健在を誇示せんとする政略的目的として四月、七月及び九月、わが軍に對し攻勢を取つて來たがその實質はやゝ大なる遊擊戰の域を脱せず所在にわが軍の反擊を受け各攻擊をも潰滅せられて了つた、右三回の敵攻勢に對する戰果は次の如くである
交戰敵兵力一、一二四、三〇〇、敵遺棄死九四、三五八、捕虜六、八〇四

二、事變發生以來敵に與へたる損害及び鹵獲品の數は次の如くである（敵に與へたる損害）
十二年七月＝十三年十一月までの敵遺棄死體數八二三、二九六、十三年十二月＝十四年四月まで一一三、〇四九、十四年五月＝十四年十一月まで二八二、一一七、總計一、二一八、四六二

敵の遺棄死體はわれの目擊せるもののみである、然らざるものを計上するときは敵に與へたる損害は（死傷、逃亡、歸順など）總計少くも三百萬と判斷せらる

鹵獲品＝十二年七月＝十四年十一月まで
重砲、野砲、騎兵砲、山砲一、二九三、洋砲二、七八五、迫擊砲一、四二五、機關砲、速射砲二三三、高射砲九九、重機關銃三、六四五、輕機關銃九、八一八、小銃二六六、七二一、戰車、裝甲車、自動車、自動貨車六九二、裝甲列車機關車、貨車客車二、三三一、艦船一八五、右は判明せる主要なるものでこの外彈藥、機材、被服等なほ多數あり

ソ側、具體的意向表明

東郷大使の公電到着

【東京國通】日ソ漁業條約改訂問題に關しては東京に於ける野村・スメターニン會談に引續きモスクワに於て東郷駐ソ大使とモロトフ外務人民委員との間に折衝が續けられつゝあつたが帝國政府としては當初より長期間の本條約締結を希望すると共に現行漁業條約の期限が本年末に切迫してゐるので取敢へず暫定協定を至急取結ぶ必要を認め一方ソ聯側はこれに同意すると共に北鐵讓渡金問題解決を條件として長期條約締結の用意ある旨を表明したので東郷大使は帝國政府の訓令に依り廿七日モロトフ外務人民委員と會見し北鐵讓渡金に對する具體的解決方を申入れると共に帝國政府の暫定協定案を提示した、これに關し廿八日外務省に宛東郷大使より

わが方の暫定協定案に對するソ側の意向を表明するとゝもに北鐵讓渡金についてのソ側の具體的意向を申出でた

との公電が到着したが外務省では更に詳報をまつて卅九日中に首腦部會議を開き愼重考慮の上速かに東郷大使に訓令を發し至急交渉を繼續させることゝなつてゐる、これにより重ねて東郷・モロトフ會見が行はれることゝならうが帝國政府としては暫定協定の成立はあくまで年内に成立することを希望して居り、交渉が順調に行けば必ずしも不可能ではないとも見られるが彼我の意見にはなほ若干の懸隔ある模樣であるひは來年に持越されるやも圖られず三十日或は三十一日に行はれるべき東郷・モロトフ會見の結果は極めて注目されてゐる

その日〱

阿部さんももう勉強の時期は終つたらう、今度は實行である

◇

靜觀の名を以て無爲たることを蔽ふて貰つたりしては困る

◇

物資物價の根本方策をこれから研究するなど遲いではないか

◇

アメリカ大統領の和平提案など、どれだけ本氣になつて聞けるだらうか

◇

積み重ねたその日〱、こゝにペンを磨いて更に來る年に進まう

チタ會議代表晴の歸還

仕上げは哈爾濱で 兩代表元氣一杯

非道い南京虫 兩みつちやんも土産話

去る五日在滿洲里多數官民の熱烈な萬歳に送られ勇躍チタに赴いた滿蒙國境劃定會議代表久保田、龜山兩代表以下一行は、祖國の名譽をかけて國民の後援に感謝しつゝ日滿側の固き意思をソ聯側に傳へ、健鬪よく會議前半を終へ、後半の哈爾濱會議に備へ廿八日熾んな出迎裡に滿洲里に歸着した驛頭に下り立つた兩代表は疲れも見せぬ元氣な顔で、折柄歐洲視察に赴く鮎川總裁や、モスクワに通商協定締結に出發する松島公使と劇的對面を行つたのち

ソ聯側の待遇は非常によかつた、おかげで會議も氣持よく進み、順調に終ることが出來た、だが會議はなほ哈爾濱で續けられるのだから今後とも變らざる國民の援助を期待する

と語つた、隨員、助手の連中は領事館員や辨事處員から滿洲里宛で來て居た手紙を渡され慰問袋の手紙を受取つた兵隊さんのやうな喜びやう、紅二點の兩みつちやんは無事チタでの任務を果した喜びに兩頰を輝かせ

とても元氣でやつて來ましたわ、待遇もよく皆さんが一緒だつたので一寸も淋しいと思はなかつたけれど南京虫にはすつかり惱まされてしまつたわ

と言ふ、一行のため特に待たせてあつた列車に急いで乘込んだ、一行は萬歳に送られて二時五十五分哈爾濱へ向つた【寫眞は上から久保田、龜山兩代表と紅二點の兩みつちやん】

ステートメント

滿洲里に歸還せるチタ會議出席の日滿側代表團は、滿洲里驛頭で左の如きステートメントを發表した

△ステートメント　われわれは本月七日以來ソ聯邦チタ市に於てソ蒙側と會同して、最近紛爭ありたる滿蒙國境劃定に關し、去る廿五日第八回會議に至るまで討議を行ひ、終始議事は順調に進捗せり、この間日滿官民各位よりわれわれ代表部に與へられたる熱誠なる御鞭撻と御援助に對し深く感謝する次第なり、引續き哈爾濱市における會議は來る一月七日より開催せらるゝ豫定にして今後ともわれわれ日滿代表部は一層の努力と誠意をもつて、日滿官民各位の眞摯なる御期待に副はんとするものなり、なほこの際特に一言したきはわれわれのソ聯邦出入國ならびにチタ滯在中におけるソ蒙側の誠意ある待遇により、公私とも終始愉快に過し得たることなり、こゝに改めてソ蒙側に謝意を表するものなり

躍進滿洲の反映! 觀光團決算

昨年度の約二倍

來滿總合計九萬七千余人 目立つ外人客の群

滿洲國の躍進につれて大陸へ大陸へそして新京へ新京へと外人觀光團體が殺到してゐる十一月にはアルゼンチン及びウルグワイの女教員團、アメリカの教育團等も來京した、ジヤパンツーリスト・ビユロー新京案内所副主任上野破魔治氏に四月以降の支那から斡旋された觀光外人團體を聽くと

四月＝英人十五名、米人十三名、獨人二十八名、佛人七名、五月＝英人十八名、米人十三名、獨人五十一名、佛人六名、六月＝英人十九名、米人十一名、獨人四十三名、佛人十三名、七月＝英人九名、米人十二名、獨人二十名、佛人十一名である、八月＝特殊客として四名、九月＝六名、十月＝廿一名

で新興滿洲の國都を諸外人に認識させるには更に觀光客の增加をはかるのが急務とされてゐる、なほ新京觀光協會旅客斡旋報告によると邦人滿人も總合計は九萬七千九百八十八名の多きに達し、昨年の約二倍の活況を呈して觀光協會も大童であつた、定期觀光バス廿五日の報告では合計一萬五千九百八十三名前年度約三倍であり、貸切バスは二萬千六十名であつた、ヤマトホテルでは語る

毎日平均十名の外國人が投宿されてゐるわけです來春からはもつともつと忙しくなりませう

榮の警察最高賞

殉職三警官に輝く

于治安部大臣は匪賊討伐に拔群の功勞があつた三名の殉職警官に對し廿八日警察最高章を授與し名譽の徽章と賞金を傳達してその一死奉公の誠を顯彰した、この光榮の三氏とは奉天省昌圖縣警正澁谷留吉氏と龍江省訥河縣警佐關御鄉氏及び同警尉中村愛氏である

澁谷警正は本年八月廿三日昌圖縣下に潜入した老兆省一派の討匪に出動中屋内にあつて頑強に抵抗する匪團を包圍攻擊して勇敢にも眞先に敵中に突入一名を射殺し更に追擊せんとした際、數彈を浴びたが屈せず、なほ奮鬪中出血多量のため無念壯烈な殉職を遂げたのであつた

また關警佐、中村警尉は共にこの十月十四日訥河縣に襲來した匪首王壽仁一味の百三十餘名と猛烈な遭遇戰を交へ第一線を死守しこれまた激鬪數刻身に數彈を浴び勇敢な殉職を遂げたものでいづれも一死奉公の誠を盡した警察精神の權化として功勞拔群警官の龜鑑とされてゐる

歳末スケッチ捕物帖

その(三) 吉野町夜景の巻

夜の新京銀座―吉野町、靄に霞んでぼーつと鈴蘭燈か立ち並び歳の市のアーチか夜空にガツシリと立つてゐる、人、人、人、騒、騒、騒、シユーバ、土耳古帽、パマーネント、丸髷、馬車、洋車、自轉車、豆タク、ピユーピツク、若者、娘、奥さん、おかみさん、爺さん、婆さん、二人連れ―いやはや、足もそゞろに歩いてござる、年末、年の瀨、師走風―で、みんな思ひ〳〵にぶら下げてゐるのは云はずと知れた正月の買物さ、松飾り、〆繩、橙々、うらじろ、ニーヤの夜店は正月氣分ではち切れさう「多兒錢?」松飾り十五錢、〆繩六毛錢うらじろ一毛五「謝々」と笑つて歩き出したらニーヤの頰が一寸膨れる。惡く思ふな、歳末聯合景品付大賣出し、正月訪問着御衣裳仕立處、本年掉尾の大特賣さあ〳〵買つたり〳〵、光、影、音、響、音、響、音、響、後二日で光輝ある紀元二千六百年が堂々と歩いて來る

亞細亞建設!

亞細亞建設!

と。

その(四) 忠靈塔の巻

紺碧に晴れ渡つた蒼空を劃いて眞直に建つてゐる忠靈塔!

此處には歳末も年の瀨もない、たゞ嚴肅な瞬間が靜靜と流れてゐる。

誰もゐない。

しかし―無數の聲のない息吹きが聞える。

あゝ英靈よ―

聖戰は今も尚壯烈に續けられてゐるのだ。

護り給へ、吾が祖國日本を! 純白の羽はたきをみせて白鳩が一羽遠く〳〵飛んで行つた。

皇紀二千六百年 奉祝社員大會

滿鐵支社元旦行事

滿鐵新京支社では二十九日正午から全員三階大會議室に集合、平島支社長より一場の訓示ありて自由退社、明年一月五日まで休業、六日から平常に復する、尚元旦には午前十時から在京三千社員が支社大會議室に集合、新年互禮會の後十時三十分から皇紀二千六百年元旦奉祝滿鐵社員大會を開催する豫定である

集金橫領

富士町四ノ一九永昌成雜貨店々員河北生れ闞發祚(二二)が二十八日午後八時三十分頃集金ならびに賣揚金二千五百五十圓を窃取逃走してゐるのに氣付いた店主霜子村さんは仰天中央通署へ闞の取押へ方を願ひ出た

滿赤白衣の天使解散式

滿蒙國境戰に活躍した滿赤救護班〇〇名の白衣の天使は輝く武勳をお土産に廿九日午前七時五十四分新京着列車で晴れの歸還をした、驛頭に滿赤副理事長をはじめ役員一同の盛大な出迎へをうけた一行は直ちに關東軍軍醫部を訪れ歸還報告を行つたのち治安部、民生部兩大臣を訪問挨拶を述べ、同十一時から滿赤講堂において盛大な解散式を擧行、救護班員の無事歸還を祝し十一時半閉式した

門松の青竹を燒鳥の串にする

考へたり? 燒鳥屋

連續的徹宵警戒網に二十八日引ッ掛つた副産獲物三つ

午後十一時頃中央通署高松警尉補班が日乃出町二丁目滿人旅館悦來棧を臨檢中、同夜黑河から郷里山東へ歸る途中一泊したと云ふ客欒陣分宅(四〇)の擧動に不審があり取調べたところ現金二千二百二十五圓を身體蒲團、枕等へ隱匿してあるのを發見した外純金耳飾二個その他貴重な物多數を所持してをり出所を追及すると曖昧な答辯をなすので取調べのため檢束

ついで十一時三十分頃大和通二八滿人旅館越香旅社を臨檢の森警尉班は二十二號室で阿片密吸飲中の帳場張云福(三六)を檢擧生阿片、器具を證據品として收去した

續いて十二時頃朝日通派出所前をふら〳〵しながら門松用青竹十五本を引擔いで行く醉漢を立哨警戒中の同所員が捕へんとするや青竹を所員目がけて投げつけ逃走し樣とするのを追跡格鬪の上引ッ捕へた右は東三馬路二條胡同燒鳥屋牛島生れ揚本樺(二六)で、この書入れ時に商賣中途から拔け出して呑み廻つては門松の青竹專門に搔ッ拂をなし燒鳥用の串を自製他業者に賣つてゐたもの餘罪取調べ中

大祓詞奏上

新京神社の寒行事

新京神社では輝く二千六百年を記念して寒に入る來る一月六日より立春の二月四日まで約一ヶ月に亘つて氏子有志參列の下に毎日午前六時から約三十分間神前に「大祓詞」を奏上國運の隆昌と皇軍の武運長久を祈願することゝなつた、市民多數の參拜を希望されてゐる

おのろけ箱献金

喫茶太陽から

市内永樂町一ノ五喫茶食事の店太陽こと岩井やすさんは銃後奉仕の一端にと度々本社を通じて献金を行つてゐるが

二十九日またまた店に備へつけたおのろけ箱つまり異性に電話をかけたものは十錢を徴することにしてある箱に溜つた十一圓五十二錢、お正月の門松飾を質素にして浮かせた二十圓を國防献金として寄託

同時に煙草の銀紙を丹念に貯へたもの朝日の空箱に三杯、倘煙草の吸殻を紙を除き丁寧に始末したもの同じく朝日の空箱などに三杯を寄託、銀紙は献金と共に關東軍へ、煙草粉は前例により國婦新京支部へ引繼ぐことにした

貯金部資金の運用方法決る

きのふ初委員會で

國民貯蓄を奨勵し貯蓄資金の統制運用を圖るため明年一月一日より中銀別勘定として設置される事となつた「貯金部」の資金運用計畫を決定するための貯金部資金運用委員會(企畫委員會金融分科會)の第一回會議は廿八日午前十時より總務廳會議室に於て開催

政府側より星野總務長官、松田經濟部次長、飯野交通部次長、神田企畫處長、前野人事處長、小原郵政總局副局長、青木金融司長、風早鑛山、高嶺工務兩司長、内田金融科長、民間金融機關より田中中銀、富田興銀兩總裁、大村正金支配人等關係者廿餘名出席

貯金部資金の運用については貯蓄資金たる貯蓄資金の性質に鑑み國債及び地方債の外適當の株式又は貸付金を選定し以て資金の中央地方及び都市と農村への還元と云ふ事を特に考慮し運用の遺憾なきを期して協議の結果左の通り運用を決定正午散會した、即ち康德七年當初における貯金部資金は郵政貯金一億九百萬圓、郵政振替三百五十萬圓、生命保險積立金二百卅萬圓、政府共濟積立金三百七十萬圓、恩給積立金二百十六萬圓合計一億二千六十六萬圓に上るがこれが運用の方法としては國債三千五百萬圓地方債(吉林、哈爾濱兩市の都市計畫事業債、牡丹江、佳木斯、安東、鞍山各市並に龍江、北安、錦州、間島、通化、東安各省内各縣の都市計畫並に上水道事業債並に興安各省農業開發事業債)二千二百五十萬圓金融合作社聯合會貸付金百萬圓、房産會社貸付金百萬圓、電業株及び大興公司株合計三千三百萬圓と夫々振當てる事とした

なほ今後生ずべき貯金部の餘裕金は取敢へずこれを國債に投資することゝなつた、しかして右貯金部資金運用の結果郵政貯金その他に對する利息は現行のまゝ當分据置かれる方針である

部長に田中總裁

明年一月一日より中銀の別勘定として業務を開始する貯金部の部長は田中中銀總裁、同次長は海上中銀理事と夫々決定した、即ち田中中銀總裁は經濟部大臣の命ずる所により貯金部の事務を監督するものであるが同部の事務系統としては經濟部儲蓄科に所屬する事となつてゐる

社會事業へ寄附

市内老松町三ノ二天野恒太郎氏は市内の社會事業自彊會ならびに勞働保護會へ歳末同情金として各五十圓宛を寄贈した

人事往來

着京

▲酒井秋雄氏(官吏)二十九日來京蓬萊ホテル

出發

▲高橋岩太郎氏(本溪湖煤鐵公司理事長)奉天へ
▲岩前博氏(新興人絹會社社員)内地へ
▲清水喜三郎氏(同)同
▲關本武男氏(南滿鑛業用度課長)大石橋へ
▲土井武尚氏(理化學工業會社々員)内地へ
▲原山道雄氏(貿易商)ハルビンへ
▲秋山實氏(同)同
▲大石義光氏(官吏)吉林へ
▲園部英男氏(官吏)奉天へ
▲吉田保氏(官吏)東安へ
▲小山敏雄氏(日滿商事社員)吉林へ
▲山口繭三氏(貿易商)奉天へ

今晩の放送

▲七・三〇(東京)國民歌謠「紀元二千六百年頌歌」
▲七・四〇(南京)講演
▲八・〇〇(新京)國民歌謠集(バリトン獨唱)伊東泉
▲八・三〇(東京)連續ラヂオ小說(下)古川綠波
▲九・一〇(東京)時事解說

萬華鏡

聞き傳へによるおでん八丁の親爺の癖を御披露に及んで本年最後の萬華鏡とする、斷つておくが直接見た譯ではないのだから多少誇張にわたる節があるかも知れない▼先づ理髪について—これは大した珍らしい方の癖ではないが、あの晩年の禿げを思はせる薄黒い丸坊主頭を刈り上げる職人は新京にたつた一人しか居ないといふ、豐樂路近邊のさる店まで銀座八丁からわざ〱出掛ける、外の職人には絶對に頭をいらはせぬし氣に喰はぬといふ、何んでもさうしないと豆絞りの鉢卷がうまくしまらないといふ話である▼次は映畫見物、これは豐樂劇場だけにしか行かない映畫が何んであらうと、かうと決めた劇場で見ないことには見た氣がしないさうだ、これは散髪の行き歸りに便利がいゝからだといふ說と、建物がいゝと映畫もいゝものだと信じてゐるのだといふ說と二つあるが、何れが眞かは明かでない▼第三は自家用自動車について—といつても自家用を持つてゐる譯ではない、豆タクのことを親爺はさういふのである、これを呼び止めるのにわざ〱バスの停留町に立つて止める、折よく空いたバスが來ても絶對にバスには乘らない、自家用が來るまで根氣よく立つてゐる、客商賣をやつてゐると何時も頭を下げてばかりゐるので「自家用」だなどゝ變なところで威張つてみたいだらうと、この癖は餘り人がよく言はない▼第四は負け嫌ひ、勝負ごとが好きか嫌ひかは知らぬが何んでも勝負と區別のあるものには勝たねば氣が納まらないといふ、今までにかりにも人様の眼前で負けたなんて妾はお目にかけたことがないと威張る、そんな時には八百長をやるんだらうといへば、馬鹿を言へ俺は八丁だ……

配給の一年
本年度滿映の業績

中華、蒙疆の映畫市場に對する滿映配給網の進出は冒頭にも述べた通り、事變新段階の展開とともに本年度に入つて特に著しく、其の配給館數は

▽日系館　北京(三)天津(四)濟南(二)青島(二)太原(一)徐州(巡業)唐山(巡業)保定(巡業)上海(八)漢口(二)武昌(一)張家口(一)大同(一)石家莊(一)

▽滿系館　北京(九)天津(一八)青島(三)濟南(五)周村(一)芝罘(二)威海衞(二)徐州(一)唐山(一)彰德(一)煙臺(一)石家莊(二)張家口(一)厚和(一)包頭(一)太原(一)大同(一)

以上の如く多數に及び、更生新支那、蒙疆の文化再建に異常な拍車をかけたことは、看過すべからざる滿映の業績で、これらは何れも中華映畫株式會社及び華北電影公司の滿映姉妹會社設立とともにすべて兩社に繼承せしめた。

他方、滿映に於ては、朝鮮並びに臺灣に對する滿映自作品の配給進出をかねて計畫準備中であつたが、本年に入つて急速にこれが具體的實現を見るに至つた。即ち、朝鮮映畫界と滿映との提携は、既に昨年來朝鮮映畫月一本輸入配給を實施して其の關係淺からぬものがあつたが、本年四月京城に「滿洲映畫協會朝鮮配給所」を新設同所を通じて滿映作品「冤魂復仇」日本版を朝鮮各地に配給。また臺灣に於ては本年七月臺灣映畫株式會社、臺灣映畫協會、三共貿易公司三社と提携の上「臺灣滿洲映畫配給組合」の設立を見、滿映作品「鐵血慧心」日本版を臺灣全土に配給した。本年度に於ては滿映作品各一本の朝鮮、臺灣進出を試みたが明年度以降は續々とこれを配給の豫定で頗る期待されてゐる

文化映畫の重要性は、これを今更事新しく云々するまでもないが、滿映配給部では夙に全滿常設館に對する優秀文化映畫の配給上映に關し積極的研究、準備方針を以て臨み、昨年來文化映畫の配給は活潑性を帶びて來たが本年に入つて特にこの傾向は著しく、本年度封切本數は百本を超えるといふ、昨年度に比して一躍倍加の激增振りを示した

これは更に十月一日を期しての系統制撤廢新配給制度實施に依り益す促進助長され、從來市場進出を試みなかつた滿映自體の製作文化映畫は勿論のこと、政府はじめ各機關に於て企畫製作せる優秀文化映畫にして死藏されてゐたものも、すべてが一般觀客大衆の前におくり出されて、文化映畫配給上映の必然性に一層の拍車を加へるべき機運を招來した

このことは、日本に於ける「映畫法」中に「文化映畫の強制上映」問題が含まれてゐる事と照合しても、大いに注目される。(完)

三味線武士

△日活映畫、井口靜波がサンデー毎日に連載した大衆小說により衣笠十四三が監督に當つた作品、武士を捨て長唄で身を立てようと藝道一筋にはげむ小森庄五郎が親友の危急を聞いて劍をとつて起上る、寛壽郎の主役を助けて澤村國太郎、河部五郎、市川小文治、遠山滿、橘公子、近松里子が出演、劇中劇「相生獅子」「狂ひ曾我」に長唄界からの應援がある、豐樂劇場新春封切

雜音

劇壇のけふからの「忘年お笑ひ週間」エンアチャの「僕は誰だ」ロッパの「樂園の合唱」エノケンの「法界坊」三本立の替りと▼帝キネの名畫祭第二番組「我等の仲間」「どん底」の替りを最後に六館とも本年のゴールインブロとなる▼揚りの方では長春座の「愛染かつら」完結篇が有終美のヒットとなりホクホクの越年であるが▼最早やこのところ各館ともお正月プロ賣出しに懸命である▼洋畫陣寂寥感はあるが、第三週まで各館とも豐富な娯樂番組に充分な客足が豫想される

舊十一月二十日　土曜　辛丑　赤口　除　柳宿

本郷・神誠館

●一白の人　偏分薄く事の半ばにして蹉きを生じ易き日　西と乾と巽が吉
●二黑の人　心を陽氣に持てば運氣も引き立ち來るべし　丙と乾と西が吉
●三碧の人　足元の取捨を省みず先にのみ走り過ぐる日　北と南と乙が吉
●四綠の人　無理をすれば破れを生ず口大ごと最も注意を　北と南と壬が吉
●五黄の人　獨斷主義に流れて敵を造らるゝ嫌ひある日　南と坤と西が吉
●六白の人　不況に沈み居り身も追々吉運に向ふべし　坤と艮と西が吉
●七赤の人　權謀は事を破る精力に況したることはなし　坤と辛と北が吉
●八白の人　照ても降ても本業離れず勵めは吉日なる　南と乾と辛が吉
●九紫の人　己が職業に心を專らにすれば大吉日となる　巽と乙と坤が吉

近藤勇

橋爪彦七
西正世志畫

（百三）

惱む近藤（四）

翌日だつた。

勇は、ものみに出してある隊士から、飛報を受けるとすぐ歳三を呼んだ。

『土方、これだ』

歳三は、勇の示す書狀を擴げると、一と通り讀んで

『長藩、來島又兵衛が、京表へ馳け上るとありますな』

勇が、

『そのくらゐのことはあらう』

『池田屋の一件が、大分手痛く響きましたな』

『さうらしい』

と、頷いて、勇は、眼を大きく見開くと、

『そこで——次に動くのは誰——何者だと思ふ』

『長藩家老福原越後』

『圖星だ』

勇の唇ばたに、微笑が浮いた。

『毛利父子の冤を雪ぐ——とかなんとか、勝手な理窟をつくつて來るぞ』

歳三が、

『一體、桂は、何うしたのか?』

すると、勇が、

『貴公、知らんか?』

微笑してゐるのを見て、歳三が目を瞠つて、

『局長は、御存じでゐられるのですか』

『ふゝ、うふゝゝ……』

『厭な笑ひをなされて……』

『をかしいから』

と、いふ勇に、歳三が、

『人が悪うて——』

勇が、笑ひを消すと、歳三に向つて、

『逃してくれんと困るが、拙者は、彼の立ち廻り先を存じてをる』

『をられる?』

瞠目する歳三に、

『だが、滅多なことに手出しはいかん』

さう云つてから、急に、

『今夜、久しぶりで祇園へ行かぬか』

と、云ひ出した。

『お供しませう』

言下に、歳三が云つた。

夜ともなれば——。

勇が先に屯所を出て、歳三と、沖田と、それに二三の隊士が從つて祇園の花街へ足を踏み入れた。

恰度、その頃……。

祇園の茶屋の『あけぼの』では作州の浪士の安藤鐵馬が、肥後の浪士の坪田三吾と、奥二階で、酒を酌み交はしてゐた。

鐵馬が、盃を、かちりと膳に置いて、燭臺を氣にしながら、

『暗い』

さう云ふと、そばにゐた女が、

『もう一つ點して參じませうか』

『うむ』

と、うなづいた鐵馬に、三吾が眼で知らせて、

『これでいゝ、これでいゝのだ』

そして、宙腰になつてゐる女に、

『用があれば呼ぶから』

さう云つて退らせると、入りちがひにこの茶屋の亭主の源助が顔を出した。

『お、源助』

『ま、お兩人様——』

源助は、急いで中に入つて、

『ようまあ御無事で——あの池田屋の一件を聞きましてから、どうなさいましたことかと、どんなに御心配申上げましたことか』

『忝ない』

と、三吾が云つて、

『安藤は、あの通りの傷だ』

『さあ——』

眼を丸くして、鐵馬のいたいたしさうな左の肩をちッと見た。

『やられて喃』

と、鐵馬が、[illegible]ひながら、

『三吾はうまく逃げたが、運惡く拙者は、近藤に見つけられ、はッと、思つた時には、もう二の腕を半分斬られてゐたんだ』

思ひ出したやうに鐵馬がぴくりと眉を吊げた。

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠
編輯人 和波
印刷人 水越內之介

長期漁業條約締結にソ聯誠意を表示

けふ更に會見行はる

【東京國通】日ソ漁業條約問題に關する廿七日の東郷モロトフ會見の結果につき外務省では公電の到着を待ち愼重考慮を重ねた上廿九日午前より東郷大使に宛てゝ續いて訓電を發したが、これに基きおそらく卅日には東郷モロトフ會見が行はれるものと見られる、しかして廿八日の會見の結果明確にされたソ聯側の意向は漁業問題の解決につき相當の誠意を示してをり、この際暫定協定が成立し、且つ北鐵譲渡金問題が圓滿に解決するならば明春を期して長期に亙る漁業條約締結のため商議に入る用意がある旨を文章をもつて表示し來つた模樣である、從つて漁業問題に關する限り日ソ關係の前途は相當期待をかけ得ることとなり、現に商議中の暫定協定及び北鐵譲渡金問題も順調に運べば、年内遲くも新春初旬には圓滿解決を見るものと豫想され、更にこれを轉機として新春には長期漁業條約交渉が露都モスクワで開かれるものと見られるに至つた

北鐵割賦金問題

滿洲國側前途を樂觀

日ソ漁業暫定協定の先決問題として取上げられた北鐵譲渡協定にからむ代償割賦金問題は目下仲介國たる日本政府の斡旋によつてモスクワに於ける東郷モロトフ會談で交渉が進められてゐるか、滿洲國政府は二十七日の右會見でソ聯側が具體的意思を表示したとの報に關心を示し頗る滿足の色を見せてゐる然して滿洲國としては同問題に關して仲介國たる日本政府の態度を諒とし交渉の都度日本側に希望並に要求を通告すると共に本交渉に關する情報を交換してゐるが交渉の前途に極めて樂觀的意向を仄めかしてゐる、併しソ聯側より提示した所謂「具體的意向」は未だ滿洲國側に通報されてゐないが、モスクワ交渉が双方の互助的かつ建設的立場を基礎として進められてゐる以上何等かの原則的意見の一致を見るは可能としてゐる、從つてモスクワ交渉が如何なる解決辦法を生み出すか、豫測されないが滿洲國の最終支拂金五百九十八萬圓とソ聯側の北鐵債務總額五百六十餘萬圓の間に債務履行の基準を發見し、その基準に從つて支拂項目を當てはめるのではないかとみられるか、何れにしてもモスクワ交渉の空氣よりして案外早く妥結點が纒まれば技術的な問題は哈爾濱における兩國出先官憲の手に移され引續き細目問題の商議續行の運びに至るものと信ぜられる

皇太子殿下 本年最後の御參内

【東京國通】皇太子殿下には廿九日午前十時半赤坂東宮假御所御出門、石川傅育官以下側近者を隨へさせられ本年最後の御參内を遊ばされた、大奥にて天皇、皇后兩陛下に御對面、歳末の御祝詞を言上遊ばされたと承るが、兩陛下と御揃ひにて午餐を召され午後も御團欒あらせられ、午後三時半宮城御出門、還啓あらせられた、なほ新春二日は午前十時半御所御出門、御參内あらせられ、兩陛下に新年の御祝詞を言上あらせられ午後三時半宮城御出門還啓遊ばす御豫定と承る

飛行船で救助作業

ニユージヤーシヤ州海軍飛行隊では遭難の救助作業に飛行船を利用する方法を考案し、テストを去る十一月下旬ニユージヤーシヤ州海岸に於て擧行した、寫眞は飛行船よりライフボート投下作業

艦隊報道部發表

【上海廿九日發國通】艦隊報道部十二月廿九日午後四時發表

△北支方面戰況

一、わが艦艇の一部は去る廿六日射陽河下流太平港において有力なる敵百を攻擊、これに甚大なる損害を與へ潰走せしめたり

一、海軍航空隊は去る二十七日山東半島北端大辛店南方文山の敵據點を爆擊し陸軍部隊の進攻に寄與せり

△中支方面戰況

一、去る廿七日わが艦艇は貴池南方の敵據點及び香口鎭東北下隅坂附近に蠢動中の敵部隊ならびに楊林磯において重火器を有する敵約百をそれぞれ砲擊多大の損害を與へたり

△南支方面戰況

一、海軍航空部隊は廿六日より廿八日に至る三日間廣西省内左記各地を攻擊甚大なる戰果を收めたり

1、柳州においては同地飛行場、格納庫及び附屬倉庫を爆擊その大部分を破碎せり

2、九塘、馬嶺墟附近においては執拗に抵抗しつゝありし敵地上部隊を爆擊これに大損害を與へたり

3、保平(河池南方)においては敵彈藥庫に命中彈を得これを爆破炎上せしめたり

4、桂林においては敵の熾烈なる地上砲火を冒し同地新飛行場を猛擊、同軍事施設多數を潰滅せしめたり本戰闘中敵戰闘機十二機と交戰しその二機を確實に擊墜せり

有力華僑に退去命令發す

海峡政廳强硬處置

【シンガポール廿九日發國通】海峡殖民地政廳では最近愛國の名に隱れて暗躍する支那人の非合法結社ならびにテロ行爲に嚴重監視の態度をもつてのぞんでゐるが、廿八日午後突如華僑有力者候西反に對し退去命令を發した、これは同人が不法結社を組織して幾多の暴行ならびにテロ行爲等をなしたことを理由としてゐるが、當局の處置は在留支那人に對して多大の衝動を與へてゐる

輝しき陸鷲の戰果

敵機擊墜千八百餘機

【東京發國通】大本營陸軍部では昭和十四年中に於けるわが陸軍航空部隊の輝く戰果に付廿九日午後左の如く發表した

△大本營陸軍報道部發表

聖戰開始以來陸軍航空部隊は地上部隊への直接協力に重點を置いて來たのであるが、武漢三鎭の占領後は地上部隊の廣大な占領地域の確保に協力して各地の討伐戰に參加するとゝもに本年に入るや精鋭部隊をもつて航空擊滅戰及び征略攻擊を行ひ重慶、蘭州西南沿岸を始め敵の主要都市及び後方據點に連續的な大爆擊を開始した、中にも本年二月の赤色ルートに對する猛襲はその規模と成果に於いて壯絶を極め蘭州に於いては前後三回に亙つて大空中戰を行ひ敵百十機を確實に擊墜し地上の卅機を完全に爆破した爾後この方面に於ける爆擊は連續して行はれ隴海沿線は勿論河南、陝西、甘肅に亙つて苟も軍事施設の在るところ都市と言ふ都市にしてわが猛彈を浴びぬところはない敵は南方ルートが完全に封鎖された後はこの赤色ルートを唯一の生命線と恃み然も黃河を距てゝわが地上部隊の進攻を脱れてゐるのを幸ひに軍事施設の再建及び各種の政治工作に狂奔を續けて來たのであるが今や打續く航空部隊の猛擊にあつて軍民共に生色なく動搖著しいものがある尚北支方面では陸軍航空部隊は地上部隊の肅清工作に協力して山西、河北、綏遠各一部山嶽地帶に執拗に蠢動する殘敵及びわが地上部隊の目を掠めて北上する敵遊擊部隊を捕捉爆擊して多大の効果を擧げた、中支では本年二月から三月にかけ地上軍の湖北作戰に協力し四月に至り敵が四月攻勢を企圖するや陸軍航空部隊は逸早く敵の據點を猛襲して敵主力の出鼻を挫き次いで敵の夏季攻勢、九月攻勢には湖南、江西、湖北の敵主力の動向を監視しつゝ機を見てこれを擊碎し又浙江、江蘇、安徽等の各地に轉戰して地上部隊の討伐戰に參加し、或ひは敵の虚を衝いて粤漢線方面に出動して輸送路を遮斷する等寧日ない奮闘を續けた、又南支では廣東方面、海南島、潮州方面、南寧方面に活動し地上部隊の作戰及び海軍の封鎖に協力して良くその任務を果して來た、今や冬季攻勢を呼號する敵に對して各方面に於て爆擊の鐵槌を下してゐるが地上の戰果の擧るところ必ず陸軍航空部隊の顯著な功績があると言ふも過言ではない、以上は在支陸軍航空部隊の本年に於ける業績の概要であるが滿蒙國境を警備する陸軍航空部隊の精鋭は五月より九月に亙りノモンハン附近の空中戰闘にて常に寡を以て衆を恃むソ聯空軍を驅し航空戰史上未だ見ざる大戰果を擧げてわが陸軍航空部隊の眞價を中外に示した、次に今日に至る迄の敵に與へた損害の概數及びわが方の損害機數は次の通りである

△支那事變に於ける敵機に與へた損害

擊墜 三三〇
地上爆破 一六〇〇

十二月廿六、七、八の三日間に亙り海軍航空部隊と協力して行ひたる蘭州進攻作戰の戰果に就いては未だ的確の報告なし

△滿蒙國境に於いてソ聯機に與へた損害

擊墜 一、三四〇
地上爆破 三〇〇
右合計 一、八七〇

事變以來わが方の損害機數 一八八

芬蘭、ソ軍を反擊

カラヤ方面で優勢

【ヘルシンキ二十八日發國通】フインランド軍司令部發表によれば、二十八日ソ聯軍はスヴエント湖對岸よりカラヤ方面に對し攻擊して來つたが、フインランド軍はこれを反擊し、肉彈戰によつてソ聯軍二個中隊を殲滅したなほ前線よりヘルシンキに達した情報によればラドガ北方地區リエクサンの東方イナリに向つて進擊中のフインランド軍はすでにソ聯領内で戰闘を交へつつありと云はれる、一方二十八日ソ聯空軍はフインランド沿岸一帶の要塞に空襲を敢行、引續きカレリア地峡方面に對しても猛烈な爆擊を行ひこれに對しフインランド空軍も活躍し二十八日にはソ聯機九機を擊墜したと傳へられる

ローマ教皇 伊國王を訪問

【ローマ廿八日發國通】ローマ教皇ピオ十二世は去る廿一日イタリー國王エマヌエル三世がバチカン宮を訪問された答禮として、廿八日午前キリナーレ宮にイタリー國王ならびに皇后を訪問した、イタリー皇室とローマ教皇廳のかゝる交驩はファシスト政權樹立以來最初のことなので政界ではこれを重視し、右は國際問題特に歐洲平和の將來に關するイタリーとバチカンとの緊密なる協力が實在することを示す大きなデモンストレーションであるとし、二十八日のローマならびにバチカンの各紙は一齊にこれを大々的に報道しイタリー皇室との親善關係を强調してゐる

川原中佐戰死

【太原廿九日發國通】西田部隊川原三代始少佐(鹿兒島縣出身、明治卅二年十二月十八日生)は去る廿八日山西東南方の要衝壺關附近において殘敵掃蕩中名譽の戰死を遂げた

米大使重慶へ

【香港廿九日發國通】ロイテル重慶電によれば目下北京で年末休暇中のジョンソン駐支米大使は近く重慶入りするカー英大使の後を追つて明春一月早々重慶に赴く筈であると

平和甦りし綏西

傅軍潰滅の跡しのぶ

【包頭廿九日發國通】包頭奪還を企圖した傅作義軍はわが猛攻擊の前に脆くも屈伏し今や綏西地區は再び平和に甦つた、記者は廿八日三田村部隊長と共に今次戰闘の激戰地小原、小林兩部隊奮戰の跡を親しく視察した、包頭城を後に一歩城外に出れば萬目蕭條たる峡山山麓には朔風が訪れる、寂漠たる原野は嵐の後の靜けさで、包頭より北進して後營附近に至ると兩側には累累たる敵屍が無數にころがつてゐる、小高い丘陵を中心に二米乃至三米の間隔で南に散開態形のまゝ狙擊されたものらしく打ッ伏せのまま殪れその周圍には藥莢が無數に散亂してゐる

三田村部隊長の說明によればこの附近に迫つた敵は卅一、卅二兩師でこの部隊は全く新兵で型通りの戰法だつたので相當頑强に抵抗したのであるが突擊の術を知らず、わが軍の思ふまゝに殲滅されたものだ、死體は零下三十度近い寒空に曝され砂塵を浴びたまゝ放置されてゐる、これが皇軍ならば戰場の掃除も出來るのに天晴れ戰死の榮譽にも浴せず、犬の好餌となるばかり無智の良民は强制されたまゝ兵となり、哀れ軍閥の誅求に抗しかね命脈を縮めてゐるのだ

しかしこれらの支那兵死體は〇〇部隊長の溫情で皇軍の手によつて戰場掃除の上合同埋葬をなし、その靈を慰めるとゝもに氏名判明せるものは傅作義のもとに報知することになつてゐるのだと聽かされ、〇〇部隊長の崇高なる武士道、嚴かにして威なる仁義の軍と萬腔の敬意を表せざるを得なかつた西北のなだらかな斜面にはあの岡の中で鐵牛部隊が暴れ廻つたのだらう戰車の轍の跡がトラクターで耕作された後の如く新しい土を掘りかへしてゐて如何に傅作義軍の殲滅戰が激烈であつたかを物語つてゐる

敵司令部韶關を放棄

粤漢線作戰更に進捗

【廣東廿九日發國通】粤漢線作戰の進捗と共にわが全面的包圍圈の漸次縮小せらるゝにおよび早くも敵第四戰區司令部はその所在地韶關を放棄して南雄(韶關東方百キロ)に、また廣東省政府も連山(韶關西北百十キロ)にそれぞれ遁走してその狼狽振りを示してゐる而して從來廣東放送局と僞稱、正規の廣東放送局の電波を妨害しデマ放送に躍起となつてゐた韶關放送局は廿八日夜來放送を中止し全然その電波が感ぜられなくなつたが、これは廣東省政府の遁走と同時に連山へ逃避したものと見られてゐる

包圍圈漸次縮小

三方面より戰果擴大

【廣東二十九日發國通】余漢謀以下廣東軍十五ケ師に對し夜を日に次いで猛攻進擊中のわが軍は敵に對する三方面より包圍圈を漸次縮小し着々戰果を擴大中である、即ち敵正面より攻擊せる〇〇部隊は南方より敵堅壘を次々に突破し敗敵を追つて敵の第一線要衝佛岡(英德南方)およびその東方地區に向つて猛進中であり、また右翼方面の〇〇部隊は峻嶮難路を突破し大迂迴を敢行二十八日夕刻には翁江沿岸要衝〇〇附近に進出、一方北江を左右兩側より西進中の〇〇部隊は二十八日夕刻何れも連江(北江支流)下流およびその東南地區に進出、全線呼應して躍進到るところ敵を捕捉殲滅中である

衡陽を爆擊

【〇〇基地廿九日發國通】わが岡部編隊長及び竹下編隊長の各指揮する〇〇隊は廿九日午前共同して湖南省南部に飛び蟠居する敵を求めて所在に爆擊行を敢行したが更に午後二時再度出動しわが廣東方面より北上作戰に混亂を極める粤漢線の要衝衡陽驛附近にある敵軍事施設ならびに同地飛行場附屬軍事施設を爆碎、木葉微塵に粉碎すると共に大火災を起さしめ多大の損害を與へ全機無事歸還した

李濟琛を桂林行營主任に任命か

【香港廿九日發國通】廣西防衞の失敗と中央軍の廣西入りの結果廣西派の大立物たる桂林行營主任白崇禧は著しく權威を失墜し、鄕土の回復と名譽挽回に焦慮してゐるが重慶來電によれば蔣介石は白崇禧の勢力失墜を機に白崇禧を西南より他に轉ぜしめ、後任桂林行營主任として李濟琛を任命し廣東、廣西、福建地方の軍事を統括せしむべく計畫、目下各關係方面の諒解を求めつゝあるといはれる

酒製造業組合

一月中には結成

滿洲國における酒類製造業經營の合理化とその發展を圖り就中政府の物價統制方策に即應して酒製造原料及び材料の配給獲得の圓滑化ならびに製品價格の適正化と配給の圓滑化を期するため政府は酒類製造業組合を結成せしめることゝなり、かねて經濟部に於て結成要綱及び定款を作成これに基き稅務監督署及び稅捐局をして業者の指導方を考究せしめつゝあつたが、明年一月中には强力なる組合の結成を見る筈である

即ち右酒類製造業組合の組織としては差當り日本酒及び燒酎に關し全業者を加入せしめ自治的に單位組合、組合聯合會及び組合中央會等を結成せしめそれぞれ稅捐局、稅務監督局、經濟部當局等との緊密なる連絡を保持し酒造用原料、材料購入の斡旋及び割當ならびに組合員の營業に關する統制品質の改良、營業の改善等の事業を行はしめる事となつて居り

時局物資物價統制の一環として同組合の成立は酒製造原料及び製品の價格、配給の合理的調整を見る事となり斯業經營上一段の保護助長が期待される

民生部招聘の傷痍軍人銓衡

【東京國通】今次事變に勇戰奮闘して君國のため傷ついた傷痍軍人百五十名を滿洲國民生部官吏並に中等學校教職員として招き烈々たる日本精神をもつて國家精神の興隆文教の基礎强化に貢したしとこの程滿洲國より厚生省に申込みがあつたよつて厚生省では軍事保護院と協議の上廿八日各府縣に通牒を發し最も優秀な人材を銓衡推薦することになつた

全東亞操觚者懇談會

【東京國通】光輝ある二千六百年二月十一日の紀元の佳節を期して東京市の主催で全東亞操觚者懇談會が開かれる、出席者は滿洲、中華民國、泰國ならびにハワイ、南洋諸島の邦人新聞關係者と國内の新聞、雜誌關係約二百名で東亞新秩序建設に對する協力方策、日滿支操觚者の連絡强化につき懇談するもので東京で人選の上近く招待狀を發することゝなつた

關東軍將兵忘年慰安會

協和會首都本部では關東軍將兵並軍屬の勞を犒ひ、合せて忘年の意味を兼ねて二十九日正午より協和會館を會場に忘年慰安會を開催、李香蘭の唄、漫才等で將兵達を慰安した

人事往來

▲岸原縣二郎氏(會社重役)二十九日東京大和ホテルへ
▲有賀操氏(開拓總局)同
▲早澤健氏(會社員)同
▲齋藤恒治氏(安井建物會社重役)同國都ホテルへ
▲高島司郎氏(滿洲不動産會社)同

年末年首休刊

年末年首は三十日、三十一日、一日夕刊、二日朝刊、三日夕刊、四日朝刊を休みます

本日朝刊四頁

空軍戰史上に燦然 陸海荒鷲大空襲

蘭州覆滅輝く戰果

【〇〇基地廿八日發國通】わが陸海航空部隊の精鋭は去る廿六日より廿八日までの三日間に亘り緊密なる共同作戰に甚き堂々陝西、甘肅の空を壓する無敵空中艦隊の威容をもつて長驅赤色ルートの要衝蘭州に大空爆を敢行し熾烈なる地上砲火を冒し執拗に挑戰し來れる敵戰闘機群を一蹴しつつ蘭州市內外の軍事施設ならびに東西兩飛行場に巨彈を集中西北最大の敵空軍根據地を徹底的に覆滅したのであつた

△第一日＝廿六日午前十一時十五分突如蘭州市上空に現れた島田少佐の率ゐる竹田、壹岐、中村（友）各部隊の荒鷲六編隊軍は蘭州飛行場に大爆撃を敢行、地上設備を粉碎すると共に滑走路上の中型機一機を爆碎し熾烈なる地上砲火を冒し且つ小癪にも襲ひ來つた十數機のＥ十五、十六戰闘機と壯烈なる空中戰を交へて內六機を擊墜せるもわれもまた一機壯烈なる自爆を遂げた續いて第二陣三原少佐の指揮する安達、中村（源三）檜貝、奧山各部隊は同日午後零時六分蘭州西郊西固城飛行場ならびに市街西半分の軍事施設に集中彈、これに潰滅的打擊を與へて全機無事〇〇基地に歸還した、更に田中、松山、鈴木、高橋の各航空部隊は午後零時卅分爆煙未だ晴れやらぬ蘭州を急襲市街東半分の軍事施設に無數の命中彈を送り數ケ所より火災を生じ炎々と燃ゆる市街を後に襲ひ來つた敵戰闘機の挑戰を輕く一蹴全機無事悠々〇〇基地に歸還した、第一日の敵機擊墜松山部隊一

△第二日　前回に引續き嚴寒の空を征服白銀の輝く岷山々系に長驅した田中高橋、鈴木、松山の各部隊は廿七日午後零時五分整然たる〇〇機の大編隊を以て堂々と蘭州市街上空に進入、慌てゝ急上昇し來つた敵戰闘機約十五機を擊退しつつ西固城飛行場および市內主要軍事施設を巨彈に覆ひ大打擊を與へた、更に粟野原少佐の率ゐる荒鷲群は同じく午後零時四十分飛行場を爆擊南側の諸施設および地上の三機を爆破更に來襲せる敵機十數機と約十分に亘り壯烈なる空中戰で二機を擊墜凱歌を奏しつゝ歸還すれば續く棚町部隊長の一隊は午後二時蘭州上空にその威容を現し挑みかかる敵戰闘機數機と交戰し、內一機を擊墜しつゝ蘭州東西兩飛行場を空爆し東飛行場においては場內北側ならびに南側の諸施設數棟を粉碎、西飛行場においては地上の小型機一機を爆破爆音も高らかに歸還したこの日、敵地上砲火は熾烈を極めたるもわれに損害なし

第二日の擊墜、やゝ不確實なるもの田中部隊四

△第三日　二日間に亘り六次におよぶ大空襲に一擧敵空軍の本據を覆滅したわが陸海協力空軍は廿八日更に田中、松山、鈴木、高橋、岡田、安達、中村（源三）、檜貝、奧山、島田、竹田、壹岐、中村（友）各隊堂々空を壓する戰史未曾有の大編隊をもつて蘭州に大空襲を敢行した

熱誠の大旗 企畫院從業員から汪氏に

【東京國通】新支那中央政權の誕生に奮闘してゐる汪精衞氏に日本の熱意をおくらうと企畫院食堂の從業員一同が街頭で募集した男十萬人の署名と女十萬人の祈願針で作つた五族協和の大旗が二十八日目出度く出來上つたので總桐の箱に納め二十八日午後從業員代表が陸軍省を訪れ汪氏に東京市民の熱意を傳達して下さいとことづけて來たので陸軍省では近く汪氏のもとに送附する筈である

應答なし進收機 自爆の危機脫出

＝蘭洲空襲飾る　奇蹟の生還

【〇〇基地廿八日發國通】廿七日午後一時〇〇基地に機の胴體を眞黑く油に染めながら竹下部隊以下地上勤務員の歡呼に迎へられつつ着陸した一機があつた、同機は加藤光夫曹長操縦進收中尉同乘の〇〇機で廿七日朝蘭州進攻の命を受けて進發陝西、甘肅の空を一跨ぎし長驅赤色ルートの要衝に飛んだが蘭州を寸前の楡中に達したとき急にエンジンの滑油が噴出しはじめ「しまつたッ」と加藤曹長は機首を廻らして歸還の途についたが、見る見る滑油がガラスを黑くそめ、ために前方を見ることすら出來なくなつた、計器を唯一の頼りとする盲目飛行が開始された、併し〇〇基地まで途は遠く峨々たる山脈峻峰陝西の高原が前途を阻んでゐる

〇〇基地では「機關不良歸還せんとす」の無電が進收中尉機より發せられたとき、竹下部隊長始め部隊全員は一度に憂色につゝまれて了つた、「進收頑張れ、加藤頼むぞ」と僚友達は徒らに紺青に晴れ一物も視界をさへ切るものすらない西の空を凝視するばかりで、續いて無電は「平涼上空に達したれど機關益々不調歸還困難」、更に「歸還不能、自爆す」と悲壯なる最後の決意を傳へて來た無電係はなほも一縷の光明を求めんと必死となつてキーをたゝきつゞけ青空の果を離航する荒鷲に向つて電波を送るが、今や應答なしあゝつひに駄目かと絶望のふちにも竹下部隊長は毅然と命令一下救援機がスタートする、一機、二機かくして深まり行く絶望のなかに待つこと一時間半午後一時爆音も高く白色に赤線も鮮かな一機が歸つて來た、不調のエンジンをいたはり、一度は自爆を決意したが、不屈勵ましつゝ奇蹟の生還をした進收機だ、竹下部隊長以下全員がワッと歡聲を上げて進收中尉、加藤曹長を取りまく「よかつた」とたつた一言竹下部隊長の眼には大粒の涙があふれてゐる、整備兵も感極つて泣いてゐる麗しい荒鷲の友愛が人々の胸を打つのであつた、見事に凡ゆる惡條件を征服して奇蹟の生還をした兩勇士は語る

進收中尉　楡中まで行つた時は既に發動機から滑油が洩り始め、餘りに敵地深く入つてゐるので駄目だと思つたが少しづゝ高度を下げながら歸還につきました

加藤曹長　〇〇山脈は三四〇〇米もあるのでとても越せぬと思つた

進收中尉　あれを越すと急に慾が出てこの分なら歸れるかと思つてゐたが平涼上空にさしかゝつた時今度は發動機ががたがたと揺れ出したのでこれが最後と決意してせめて機關の動いてゐる間に部隊長に報告したいと自爆すと無電を打つた

加藤曹長　私もあの時はすつかり觀念してエンジンが止つたら自殺をしやうとピストルをサックから拔いて膝の上に置いてゐました

進收中尉　ところが今にも止ると思つたエンジンがどうやら動き出し黄河を越してわが軍占領地區內に入つた時は全くほつとしました

加藤曹長　あー私は嬉しくてエンジンに手を合せて拜みました

兩勇士は自爆寸前の危機に直面した人とも見えない位平靜に微笑みながら語り合ふのであつた

米陸軍諸部隊の整備改善の急務

陸軍長官　ル大統領に建言

【ワシントン廿七日發國通】ウッドリング陸軍長官は廿七日夜長文のアメリカ陸軍年次報告をルーズヴェルト大統領の下に提出したがその要旨は次の通りである

目下の險惡なる國際情勢に鑑み百パーセントの能率を有する堅實なるアメリカ陸軍創設が焦眉の急務である、アメリカ國民は今や世界平和の維持を目的とする國際條約に信頼を置けなくなつた、曠漠たる太平洋並に大西洋を距て西半球の安全は保障されてゐたが國力がより大でありより强力な飛行機が日進日歩の發達を遂げたゝめわが空軍の活動は更に擴張せねばならぬ上述の理由に依り次の諸事項を大統領に建言するものである

一、大國防部隊を包含する諸部隊の徹底的整備改善を必要とす

一、パナマ運河の强化を圖るため同地帶の空軍部隊高射砲並に砲臺を追加配備する

一、一旦緩急に備へ陸軍の整備充實に必要なる軍需資材の購入を繼續する

一、合衆國本土を通じ軍用道路を組織的方針の下に建設する

一、如何なる外國の空軍にも劣らず且つ平均のとれた空軍を建設する

アフガニスタン國境に ソ聯續々増兵

伊太利紙の報道

【ローマ廿七日發國通】イタリー新聞ラバーフアシスター紙はカイロ特電としてソ聯軍のアフガニスタン國境増兵につき左の如く報じてゐる

赤軍は廿七日夕方迄に四十個師團の歩兵、騎兵、コザック兵、空軍機械化部隊をアフガニスタン國境に増兵した、しかしながらアフガニスタン政府のこれに對する處理についての情報は未だ受取つてゐない

敵艦監視！　ドイツＵボートの活躍

陸相重要訓示

陸軍本省　直轄各部隊長招致

【東京國通】陸軍では廿八日午前十時より本省直轄各部隊長を招致し本省側より畑陸相、武藤軍務局長、石川經理局長等首腦部出席、部隊長側より東條航空本部長、平林憲兵司令官、多田技術本部長、野口築城本部長等廿餘名出席、畑陸相より左の重要訓示を行つた後武藤軍務局長、石川經理局長より軍事豫算實施の細目について詳細說明があり、質疑應答を重ね同十一時半散會した

△陸相訓示要項

帝國陸軍としては今後事變處理の完遂ならびに最近における國際情勢に處し帝國將來の危局に備へる事絶對に必要なるの信念に基き嚢に省部間に修正軍備充實計畫を作製し今後四ケ年に亘る豫算案につき政府との間に諒解を遂げ帝國議會に提案するの運びとなれり、事變處理の前途は、なほ多端遼遠にして國家總力戰遂行の見地より全國民の確固たる自覺と絶大なる忍耐を要求するもの懇切なるものあるのみならず他方帝國對外關係の調整また容易に樂觀を許さずこの秋に當り帝國陸軍は國家總力戰の中核となり益々毅然たる態度と不退轉の決意をもつて一路難局の打開に邁進しもつて上聖旨に副ひ奉り、下國民の信望に應へざるべからず、而してこれが原動力となるものは實に精強なる軍備の充實完成にある、即ち軍としては一面國民に絶大なる協力を要請しつゝ他面困難なる情勢の下に軍備充實計畫の完遂に邁進せざるべからず、軍政當局は豫算の運用物資の消費に當りては從來より層一層注意を倍徙して深く物資の愛護尊重、經費の節約を圖り、創意と工夫とを重ねよく建設的方策を運し特に事變進捗の段階に即應して破壞消耗より轉じて建設開發を企圖する等常に事前に周到なる計畫を樹て着實にこれを遂行することと肝要なり、即ち一品一錢と雖もこれ國民の粒々努力の結晶にしてまたよく興亞の礎石なることに思を至し、苟しくも物資計費の使用上歳末といへど放漫に流れ、秋毫といへど冗濫に陷り、世の指彈を受けるが如きことあるべからず、右に關しては近く全軍に訓示するところあるべきも、陸軍省ならびにその直轄部隊は豫算の適切なる運用に關し先づ全軍に範を示すの覺悟あるを要す

トルコの强震 死傷四萬二千

【イスタンブール廿八日發國通】アナトリア地方を中心とするトルコ全土にわたる大地震は各地からの詳報が到着するに從ひ被害の程度が意外に深刻なることが判明しつゝあり、廿八日中にイスタンブールに集つた情報によると死傷者數は既に四萬二千名に達してゐるトルコ政府はあらゆる機關を總動員して罹災民の救護に全力を盡してゐるが、交通機能停止と地震後に襲來した暴風雨のため救護作業は困難を極めてゐる

昭和十五年度の一般會計豫算（概要）（下）

△統制改正の要綱左の如し

統制の改正　中央及び地方費の負擔の均衡を是正し且つ經濟諸政策の調整をはかり合せて租税收入を增加すると共に軟弱性ある税利を樹立しこれが簡易化を圖るため租税制度の根本的改正を行ふこととしたり、改正案要綱左の如し

甲（國税）

一、直接國税の體系を改組し所得税を普通所得税及び綜合所得税として營業收益税制度はこれを廢止すること

二、普通所得税

1、負擔均衡に依つて税率を區分し差等を設ける

2、税率は比例税率とすること

3、課税限度の低下

4、源泉課税方法の採用

三、綜合所得税　綜合所得税は各種の所得を綜合して所得金額中一定金額を超えるものに對し累進税率に依り課税する

四、法人に對しては別途に課することゝし現行第一種所得税及び法人資本税を綜合して法人税を創設することと但し産業組合とは特別法人税を課する

五、臨時利得税を改組し甲種利得を廢止し法人超過所得税をこれに統合課税する

六、輸入增加と購買力の吸收消費抑制のため各税に亘り相當税の增徵を行ふ

七、（略）

八、基本税々法、臨時租税措置法及び支那事變特別税法を整備統合し各税につき單行法を制定する事

乙（地方税）

一、地方團體租税の基礎確立のため分與税（假稱）制度を創設す

二、地租家屋税並に營業税は市町村の特別財源として分與税及び附加税を併用する

三、市町村戸數割はこれを廢止する

四、市町村特別税として新たに市町村民税を認めること

五、雜種税市町村特別税整調

六、（略）

七、所得税及び法人税の附加税を認めず

八、（略）

九、地方税關係法規を整備統合し地方税法を制定すること

十、（略）

二、煙草及びアルコールの値上げ、今回の税制改正に依り昭和十四年十一月十六日製造煙草賣渡し價格の引上げをなしたが、更にアルコールの賣渡し價格の引上げを行ふことゝしたり

三、税制の改正及び煙草の賣渡し價格などの改訂に伴ふ財源の增減內譯左の如し（△印減）

改訂部分	昭和十五年度	平年度
租税	三三七、三二九	七一四、九一五
地税	△四五、三三四	△四九、四七九
營業收益税	九〇、五一〇	△一三五、九九四
資本利子税	△一五、四〇七	△三〇、八一五
配當利子特別税	二〇、一三三	三三、〇〇四
利益配當税	△四六、七六四	△五二、〇一五
公債及び社債利子税	△一、四三一	△一、八七八
外貨債特別税	九、二六八	九、三六八
相續税	一、三八四	三三、九一〇
鑛業税	△四、一一五	△五、五二七
砂鑛區税	五三	五三
特別借區税	△三三	△三三
鑛産税	△三、五八四	△四、五一一
特別鑛山税	△七六二	△一、〇二六
酒税	八三、一四四	九二、四四四
取引所税	三、九四四	四、三〇二
通行税	七、三三三	九、八九一
遊興税	六、八七八	七、五〇四
臨時所得税	八六、五二四	一七九、六二六
印紙收入	五八一	五八一
租税印紙收入	三二八、一〇三	七一五、五三六
他に地方分與税として預金特別會計に於て收入すべき分		
合計	六〇四、六五五	八一四、〇六一
製造煙草賣渡價格の改訂專賣益金	六一、〇四三	六一、〇四三
アルコール賣渡價格改訂專賣局益金	三、六六五	八、六四三
合計	六六九、三六三	八八三、七四七

△新規歳出增加額主要項目內譯

歳出新規增加額中主要なる事項及びこれが所要經費の內譯左の如し

事項	經常部	臨時部	計
軍備の充實	六六、二五七	八六七、一九一	九三三、四四八
生產力擴充	一〇、四六六	一〇四、六五七	一一五、一二三
經濟統制	一、一〇一	三五、二三三	三六、三三四
貿易振興	九九一	一五、四七七	一六、四六八
海運振興	二六	一、五〇四	二一、五三〇
民間航空の振興	三、〇一七	一二、九六三	一五、九八〇
滿洲開拓	六八	三五、七七九	四二、八四八
計	一六四、三六八	二、一二一、二四二	一、〇〇五、六一〇

△昭和十五年度に於ける爲替相場の變動に基く經費

△昭和十五年度陸海軍豫算增加（陸軍省豫算）

事項	經常部	臨時部	計
			八六、四三九
兵備改善に要する經費增加	三、八六六	三七一、八六六	一七五、六五四
防空施設充實に要する經費	二六、〇一六	三七四、二九九	四〇三、三一六
資材整備に要する經費增加	—	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇
陸軍航空工廠基金特別會計繰入に要する經費	—	四、〇〇〇	五、〇〇〇
海軍省既定計畫に基く艦船維持費	四、二四四	—	四、二四四
艦船部隊等定員充實に要する經費	二、三〇五	—	二、三〇五
航空隊充實等に要する經費增加	二六、五三〇	—	二六、五三〇
航空兵器維持に要する經費の增加	九、二一一	—	九、二一一
水陸設備の增加	—	六一、六三一	九一、六三一
航空隊設備費の追加	—	四、〇七	四、〇七
艦船整備費增加	—	三、一二四	三、一二四
軍需品整備追加	—	二、八九〇	二、八九〇

ラヂオ　三十日土曜日

國

七、三〇（新京）建國體操
七、四八（大連）入港船のお知らせ
七、五〇（新京）ニュース
八、二五（大連）朝の音樂（レコード）管絃樂（モーツァルト作品）一「嬉遊曲」よりメヌエット　二、三つの田園舞曲　三、三つの獨逸舞曲
九、〇〇（新京）氣象通報
九、四五（新京）建國體操
一〇、〇五（奉天）幼兒の時間「コドモの報告」蘭の花コドモ會
一〇、二〇（新京）家庭の時間「康德六年を送る」水島芳靜
一〇、四五（奉天）家庭メモ
一一、〇〇（奉天）料理獻立
一一、〇〇（新京）食料品値段
一一、五九（東京）時報
〇、〇一（大連）將[illegible]一段

晝

晝の演藝、サロン音樂（聖ケ丘室內管絃團、指揮木村遼次）行進曲「海の勇者」（ホール作曲）圓舞曲「波濤を越えて」（ロザス作曲）他二曲
〇、二〇（大連）歌謠曲（レコード）出征兵士を送る歌（永田絃次郎他）
〇、三〇（東・新）ニュース
三、三一（新京）北米西部向海外放送＝管絃樂、行進曲「ヴイヴア・ダ・リアスカリ」（レンヂ作曲）他三曲、ハルビン放送管絃樂團
四、〇〇（東・新）ニュース　氣象通報
五、二〇（奉天）ニュース　演藝「鮮語」

夜

六、〇〇（新京）子供の時間「今年はこんな事がありました」中央コドモ劇場
六、二〇（新京）コドモの新聞
六、二五（新京）趣味講演「川柳歳末風景」大島濤明・他五名
七、〇〇（東・新）ニュース　告知事項
七、三〇（東京）國民歌謠　紀元二千六百年頌歌
七、四〇（哈爾濱）講演「歳末偶感」哈爾濱特務機關長、陸軍少將秦彥三郎
八、〇〇（大連）興亞歳末風景、大連驛前常盤橋附近より、アナウンサー大友平左衞門（奉天）未定（新京）錄音（哈爾濱）哈爾濱驛及びキタイスカヤ・ツウリストビューローより中繼（アナウンサー坂本莊）
八、四〇（東京）舞臺劇
九、三九（東・新）時報、ニュース、氣象通報、告知事項、明日の番組
一〇、三〇（新京）今日のニュース
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（謠話）

康德七年の元旦は暖かい興亞晴れ
觀象臺の嬉しい觀測

今年の冬は本格的な寒波の來襲をみずして康德七年の初春は數十時間の後に訪れやうとしてゐる、さてお正月三日間のお天氣模樣はどうであらうかと中央觀象臺に打診を依頼すると

高氣壓は黄河流域にあつて南方へ移動し、低氣壓は北滿に停滞してゐます、このため南風を送り全滿が暖いのです、何分にもこの冬はバイカル湖から蒙古方面にかけて未だに優勢な高氣壓が現はれず高氣壓は北支にあつたと思ふとソ聯へ逃げ又國内に現はれるといふ狀態なので、何時どう變化するかわかりませんが、この調子ですとお正月の三日間はまづこのまゝのお天氣でおし切り、氣溫も急に低下するやうなことはないでせう

との御託宣、康德七年、皇紀二千六百年の初春は興亞晴れといふわけだ

協和會務職員考試合格者發表

機構整備三ヶ年計畫により明春を期し新たな飛躍を遂げようとする協和會では去る十一月廿日から十二月二日までの間に新京、奉天、吉林、延吉、哈爾濱、齊々哈爾、大連の七ヶ所において會務職員の採用考試を施行したが、この程銓衡を終り、廿九日左の通り八十二名の新卒業生の合格者を發表した

姜雲章、王□、李世鈞、趙志强、□保、劉兼三、張潤、李正□、王長興、張富魁、趙國漢、李文彬、何忠潤、盧廣有、吳鶴林(以上新京)石迺章、孫尚德、張慶齡、臧賓、金景瀛、田榮庭、董長秀、李春和、方型典、房永德、楊振海、智學裕、張儀、于士琦、楊秉環、朱貴厚、嬌成義、夏嚴榮、李芳之、胡本年、楊景榮、袁忠勳、趙連德、王保泰、丁繼峯、葛永祥、金義烈、李在福、關明勳、李如林、王裕錫、趙忠禮、張結斌、李春稽、沙永學、王士先、傅連貴、金德貴、單中和、穆俊鵬、陳啓宇、吳仕貴、崔金聲、張若昆、朱寶光(以上奉天)尹中養、李國楨、趙成志、姜獻臣、王仲三、吳宗漢、趙世惠、冠鵬、欒玉賓(以上吉林)楊書麟、高慶喜(以上齊々哈爾)陳光華、李益民、趙鴻賓、鮑宗吉、胡永忠、潘維新、李振榮(以上哈爾濱)張書琳、孫慶仁、李文海、劉岳東(以上大連)

これら合格者は明春一月下旬新京の協和會中央錬成所に入所し約一ヶ年間の訓練をうけたのち各地に配屬され、會務職員として活躍することゝなつてゐる、このほか官廳、會社等に現職のまゝ應募合格したものについては目下關係各機關と折衝中で、採用可能となつたものから追つて本人宛通知することゝなつてゐる

兒玉滿航社長
中華航空總裁に轉出
大陸空路の開發へ

滿洲航空株式會社社長兒玉常雄氏は今回中華航空株式會社の擴大强化に伴ひ滿航社長を辭任し中華航空總裁に就任、大陸商業航空の開發に敏腕を振ふことになつた、同氏は昭和七年滿洲航空會社創立とともに懇望されて入社、爾來八ヶ年に亘り滿洲商業航空に全力を打ち込み今日一萬數千キロに及ぶ全滿隅なき航空網を開拓した大功勞者である、同氏はまた滿航社長たると共に惠通公司の董事長として事變後の中國商業航空開拓に貢獻、今日の中華航空會社の基礎を築きあげた育ての親でもある、同氏の如き斯界の權威を滿洲から失ふことは一抹の寂寥を覺えるが、新東亞建設の一翼が商業航空の發達にあることを思へばその前途に多大の期待と非常な力强さを覺えしめる、なほ後任滿航社長は不日決定を見る筈である【寫眞は中華航空總裁兒玉常雄氏】

氏の横顔

廿九日滿航社長を正式辭任した兒玉常雄氏は前遞信大臣兒玉秀雄氏の令兄、明治卅八年陸士卒業後、東大機械工業科を經て昭和三年陸軍航空兵大佐に昇進、昭和七年九月滿洲航空株式會社創立に當り官を辭して代表者となり同社副社長に就任昭和十一年十月惠通航空股份有限公司設立と同時に副董事長、同年七月滿航社長に就任、同年十二月惠通公司中華航空株式會社となるに際し同社董事長に就任昭和十四年六月大日本航空株式會社設立委員、同年八月大日本航空理事就任、同月中航董事長を辭任、滿航取締役に專任今日に至つたものであるが、同氏の滿航並に滿洲國に殘した偉大なる足跡は左の通り

滿洲航空創立當時は資本金僅か三百八十五萬圓で航空路も九百餘キロに過ぎなかつたが、現在資本金三千萬圓、航空網は實に一萬二千キロを突破するの大飛躍を遂げた、此間にあつて滿航の前身たる滿航工廠を設立、飛行機及び資材の充足をはかり今日の滿航の基礎を確立した寫眞處を設け、東洋最初の機上による寫眞の實地應用を行つた、この結果滿洲國に於ける森林並に地籍整理に非常な貢獻をなした、その一例を擧げれば松花江の發電所、鴨綠江のダム等皆この空中撮影に負ふところが多いのである、また本年春ドイツよりハインケル機を輸入したことは耳新しいものがある、ニッポン號の中尾機長、そよかぜ號の松井機長など聖戰下日本航空界のため萬丈の氣を吐いた名パイロットは何れも同氏の訓育下にあつたもので、この度の辭任は滿航社員を初め各方面より非常に惜まれてゐる

チタ會議代表
哈爾濱へ歸着

日ソ國交調整の試金石としてその動向を注目される滿蒙國境確定委員會チタ會議は日滿ソ蒙兩代表の協調的態度に依つて順調に進捗、愈よ後半の哈爾濱會議が明年一月七日より再び續行されることゝなり、廿七日チタを出發した久保田、龜山日滿兩國代表以下隨員、助手の一行は長途の疲れも見せず廿九日午後三時四十分(一時間延着)滿國際列車で谷口駐哈領事、下村外務局駐哈特派員、ロゴフ駐哈ソ聯總領事代理以下在哈日滿ソ官民多數の盛大な歡迎裡に去る三日哈爾濱出發以來廿六日ぶりに歸還、直ちにニユー哈爾濱ホテルに投宿したが龜山代表のみは午後四時五十五分發列車で新京に向つた、なほ哈爾濱會議の會場並にソ蒙代表宿舍は何れもヤマトホテルと決定

龜山代表着京

一行と離れた龜山代表は先行直ちに新京へと向ひ午後九時三十分新京驛着列車で日滿官民多數の「御苦勞さま」の聲に迎へられて無事歸京した【寫眞は歸着の龜山代表】

制服の女給さん 齊々哈爾に登場

時代色豐な國防婦人服に身を固めた制服の處女ならぬ制服の女給が非常時克服の意氣にもえて颯爽と全滿各都市に魁け近く齊々哈爾市にお目見得する、齊都のカフエーは十八、女給數二百六十名であるが彼女達の大半が毎月衣裳代に追はれなかには相當苦境に陷つてゐる者もあるのでこれが救濟策につき業者間で寄々協議中のところ警察廳の肝煎りで新國防婦人服を制定しようといふことになつたもので新春紀元二千六百年の最も意義ある紀元節を期して一齊に斷行すべく着々準備を進めてゐる、新國防服は一着三十五圓乃至四十圓折襟の質素なものとなる筈でこれによつて彼女達の負擔は相當輕減されるとゝもに消費節約の國策にもそひまた非常時女性としての斬新な氣持でサーヴイス出來ようといふもの……

化學用品を統制
一月一日より實施

滿洲における化學藥品統制については日滿商事においてこれを行ふことになり、かねてこれが統制方針の具體化について研究中のところこの程成案を得、廿八日附當局の認可を得るに至つたのでいよ〳〵化學藥品廿四品目に亘り來春一月一日を期し左記要領により實施することに決定を見た、なほ配給機構については從來の販賣業者を活用することになつたが、日滿商事の下に下請販賣人を指定する模樣で之に需要數を申告せしめ配給を爲すものと見られ、販賣價格は原則として一年間据置の驛又は倉庫渡標準價格制をとり追つて各品目別に發表を見る筈である、統制實施要領は左の如くである

一、統制期日及び品目(イ)一月一日より實施 左記廿二品目は一月一日より實施、硫安、硝安、石灰窒素、硫酸加里、過燐酸石灰、配合肥料、ピッチ、特殊コークス、コールタール、クレオソート、アスフアルト、ナフタリン、アンスラセン、トルオール、キシロール、曹達灰、苛性曹達、鹽酸、硫酸、硝酸、晒粉、カーバイト(ロ)石炭酸及びクレゾールは準備完了次第統制を實施する、但し右二品目でも小瓶詰(五百瓦又は一封度詰)又はこれに準ずる容器詰のものは當分の間除外する

二、統制實施の品目については一年を四月—六月、七月—九月、十月—十二月、一月—三月の四期に分けて需要家より需要見込をとつて配給割當をなす、但し康德七年三月迄の分は正式の割當によらず月別の需要申込みを査定して配給する

三、需要家は日滿商事の各支店、出張所又は下請販賣人に對し左の期日迄に品目、規格及び用途等を記入し申込まねばならぬ ▲年間需要 七月十日及九月十日の二回 ▲期別需要 四—六月分一月十日、七—九月分四月十日、十—十二月分七月十日、一—三月分十二月十日 ▲月別需要 前々月廿日

四、國内の販賣價格は原則として年間据置の驛又は倉庫渡標準價格制度とし各品目別に追つて發表す

觀光バス無休

新京觀光協會では躍進國都見學に來京する觀光客の便宜を圖るため本年末ならびに新春正月にかけて無休、毎日午後一時三十分より觀光バスを運轉することゝなつた、なほ元旦より料金は大人二圓、子供半額とそれぞれ値上げされる

寄附

株式會社永田製作所(福岡縣若松町)取締役今吉年雄、同新京出張所長黑田政雄の兩氏は二十八日正午協和會中央本部を訪れ、貧民救濟の一部として金五百圓を寄附した

大御心からの御告文奏せらる
嚴かな明春紀元節

【東京國通】六合開都八紘一宇の悠久燦たる聖詔を賜ひ畏くも神武天皇が橿原に都を奠め給ひ御即位あらせられてより二千六百年、光輝ある式年の明春御即位記念日たる紀元節には宮中三殿において天皇陛下御親祭の下に文武百官が參列し御意義一入深く紀元節祭を行はせられるが、この御儀には畏くも大御心からの御告文を奏せられて至重至高の御儀として嚴かに執り行はせ給ふと承る、殊に橿原神宮、伊勢神宮をはじめ奉り畝傍山陵並に多摩陵に掌典を勅使として參向奉幣せしめられ嚴かなる御祭典を行はしめられる由で更に秋十一月上旬には天皇、皇后兩陛下には伊勢神宮、橿原神宮、畝傍山陵、桃山御陵などに御直拜あらせられると洩れ承る

拔荷の苦力群に一齊檢索の嵐
鐵道警護隊の歳末警戒

新京鐵道警護隊では特別警戒の眼を掠めて最近新京驛構内の發着貨物拔き取りが頻々と發生しつゝあるのでこれが徹底退治をなすことゝなり二十九日午後四時を期して警察係員を動員、貨物發着場、荷車積込廣場附近一帶の一齊檢索を敢行した、この拔打的の檢索に拔き取つた物品を隱す暇なく雜沓中を狼狽て廻る苦力を一網打盡に檢擧取調べの結果、不屆者は國際苦力一名、富士町四ノ四丸重洋行苦力四名、日乃出町三ノ四公發長苦力三名その他容疑者二十八名で、彼等は主として發送貨物を相當長期間に亘つて密告するが如きことの無いやう横の連絡を取りつゝお先に一寸失敬してゐたものゝ如くで、昨今は國都より内地へ年末年始の贈答物が多く送られ從つてこれを拔き取つて捕つたものが大部分である、同隊では容疑者二十八名は一應取調をなし嚴重訓戒を與へて釋放他は留置餘罪追及してゐる

小麥粉闇取引
新京驛でバレる

二十八日午前二時三十分頃新京驛構内を警戒中の新京警護隊員は二時二十分着列車から下車赤帽數人にメリケン粉十二袋を運ばせてゐる滿人を發見「闇取引」と直感取調べのため同滿人を詰所へ同行した、右は新天地春向東胡同一〇六號射的業張瑞武(二六)と云ひ峻烈な追及に隱し切れず小麥粉の闇取引を自白した、即ち張は小麥粉が專賣となるや儲けるのはこの時とばかり本業の射的屋を女房に委せて十二月初旬三谷河に赴きかねて親交のある米穀商福順和方から四十袋を購入(一袋七圓)して先づ最初は少しと五袋を持ち歸つて城内飲食店へ一袋を三倍値の廿一圓で賣つたのを手はじめに前後四回に亘つて往復四十袋を移入した外手先を使つて沿線三個所から數十袋を仕入れて數千圓の巨利を得てゐたが、第四回目に鐵腕を誇る同隊の特別警戒網に引ッ掛つたもので、家宅捜査の結果小麥粉二十數袋を同家裏倉庫から發見押收したがこの種惡辣な余罪多數ある見込で追及してゐる、同隊では小麥粉が專賣となつてから初の獲物なので專賣署と連絡嚴罰を報ひ奸商征伐最初の血祭とすることゝなつた

總攻撃一日で敵軍脆くも降伏
旅順開城記念放送 山内老の追想

新支那中央政權の確立を目前に控へ東亞恒久の秩序建設着々成果を收めつゝある折柄、皇紀二千六百年の新春は恰も日露戰役三十五周年に當るので、大連放送局では同戰役旅順攻圍軍が露軍を降伏せしめて明治三十八年一月五日旅順入城式を行つたのを記念し、明年一月五日午前十時半より從軍の老勇士大連市楓町六三番地山内三吾(六六歲)氏の「旅順開城の思ひ出」を全滿に放送するプログラムを作つてゐる、因に山内三吾氏は元滿洲電々總裁山内靜夫中將の令弟である、この意義ある企てを前に同氏をその居宅に訪れて難攻不落旅順陷落當時の想ひ出話を叩いて見ると山内氏は明ければ六十七歲の老齢に少しも衰へを見せず往時を追懐しつゝ元氣な口調でポツリポツリと左の如く語つた

明治 三十七年には工兵中尉として旭川第七師團に配屬してゐるまた、ところがどう言ふ理由かこの第七師團には何時迄待つても動員令が下らず、他師團の同僚から盛んにひやかされ「後備が出て行く常備が殘る、殘る師團か七師團」と言ふ歌が流行した位です、吾々は口惜しかつたものです、卅七年の八月四日に待ちに待つた動員令が下り十一月十一日大阪を出發して同十四日に勇躍大連に上陸しました、當時バルチック艦隊の來襲に備へ旅順陷落の必要に迫られそれには是が非でも二〇三高地を奪取せねばならない情勢にあつて吾々も遲れ馳せながら旅順攻略戰に參加したわけです、第七師團は後備でしたからお話する程華々しい事もなく過ぎ、三十八年の正月元旦深更、露軍降伏、同五日の水師營會見までの印象に殘つてゐる話をしてみませう、二〇三高地の

中腹 ナマコ山に露兵の死骸が一杯轉つてゐて毎日これが方向を變へる、死骸が動くのは妙だと思つてゐたら二〇三高地では友軍から非常な犧牲者を出したので敵愾心が盛んで日本兵がこの死骸を蹴りつけてゐたからなんですよ、敵とは言へ可哀想な話なので早速手厚く葬つてやりましたがね、この二〇三高地は壕から壕を傳はらなければ危くて登れなかつたが、この壕が日本軍の死骸で一杯、だからこれを踏んで行かねばならないんですからこれが又實にいやな氣持でね、まあ言ふ數は二〇三高地の二〇三で七では割り切れない、そこで七では割り切れるといふので二〇三高地を攻略するのは七師團だと誰言ふとなく言ひ出したもので、大いに士氣擧つたものです、卅八年元旦敵の油斷を見て火蓋を切つた總攻撃が夜になるとピタリと止んだ變だと思つて司令部に問ひ合せて見ると、敵が降伏したと言ふんですね、あんまり最後が簡單でむしろ淋しい氣がしましたよ、二日が委員の會見、五日有名な水師營の會見で難攻不落の旅順も遂に降つたわけでしたが、あの當時の氣持は唯胸が

一杯 でした、將兵は盛んに「內地の提燈行列が見たい」と言つてゐたのですが、この一言で素朴な兵隊の氣持がお判りでせう、まあ大體こんなところで勘辨して下さい」何しろ昔の話なので……【寫眞は旅順開城の思ひ出を語る山内三吾氏】

水泳選手伯國へ

【東京國通】南米ブラジルのサンパウロ市在留邦人運動協會では同地における水泳熱の勃興に鑑み世界水泳界の王者母國日本から水泳選手を招聘、第二世の體育向上、選手養成と併せて日伯親善を圖るべくかねてより外務省を通し大日本體育協會へ選手派遣を申込んでゐたが體協ではこれを容れ廿八日遊佐正憲、葉室鐵夫の兩選手及び齋藤監督の三君を派遣するに決定した一行は一月十七日神戸出帆處女航海にのぼる大阪商船新造ぶらじる丸で出發約廿日間ブラジルに滯在、各地の模範競技に出場四月十九日同船で横濱に歸る筈である

母堂忌明に同情金寄託

市內大馬路三九、新京料理店組合書記黑川泰三氏は曩に母堂いささんが郷里福井縣吉田郡中藤島村覺明寺の自宅に於て死去し、二十九日百ケ日の忌明に際し香典返しとして貧民救濟資金に五十圓を本社に寄託した

八島校の盗難

二十八日午前十一時頃八島小學校事務員中出幸作さんが出勤、事務室に入つてみると金庫が何者かに破壞されてゐるので中央通署へ屆け出た、係官出張取調べたところ、犯行は午前一時頃とみられ金庫の現金十圓五錢が竊取されてあつた

千四百圓紛失

昌平胡同七〇〇號園部幸之助さんは廿八日午後一時より同八時頃までの間東光路松浦組現場から義和路角の滿人理髮館へ赴く途中千百圓在中の封筒と三百圓入封筒を遺失順天署へ屆け出た

黑龍丸の婦人客 投身自殺か

卅日入港豫定の日滿連絡船黑龍丸三等船客大連市山吹町六六山本英一郎妻さかえさんは同船が廿八日門司出帆後間もなく行方不明となつたが投身自殺を圖つたものと見られてゐる

やまと號

【カラチ廿八日發國通】廿八日午後カルカッタを出發した訪伊親善機やまと號は途中快翔を續け、印度大陸を一氣に横斷して同日午後カラチに安着した

七分搗

國通の名社會部長として敏腕をうたはれた太田知之氏、多年の理想を實現し建國學會を始めた▼氏の說くところ憂國の熱情溢れて聞く人々の胸を打つ▼努力の人として知られ愛妻家として有名であるが▼二ケ年かゝつて女房を教育するの話は婚期にある獨身者の傾聽に値する▼眞面目な講義錄は勿論大切ではあるが「大陸結婚講座」でも出してくれたらと知る人は大いに期待してゐる

天氣と氣溫

けふの天氣　西寄りの風稍強く晴一時曇
きのふの氣溫　最高零下二度五　最低零下十七度三

淺春胡同【三】

工　淸定
白崎 海紀(繪)

黒眼鏡(3)

「ええつ!」

哲也は怪訝な顔をまともに上げて、眼鏡の奥の眼をみはつた。

「旦那!旦那のお父さんはもしかしたら村崎欽一郎と仰言いませんでしたか。」

と銅壺を押しつぶすやうに、主人が乗り出して來た。

「おい、お前は一體誰だどうして親父の名なんか、嗅ぎ出したんだ。」

哲也は答へながら、主人の兩眼が俄にうるんで來たことを見逃さなかつた。

「あ!さうでしたか矢張、旦那は大尉殿の坊つちやまでしたか!」

「おい、何を言ふんだ、一體。」

「ああ、旦那!立派におなりの旦那に、こんな所でお目にかからうとは……。」

主人は大きい手の甲で、涙をぬぐひながら話しつづけた。

「もう、すつかり白狀してしまひます。私は、私はよく久留米のお宅で、坊つちやまのお馬になりました西口……と申しましても、お忘れでせうが、その……。」

「あ、さうだつたのか!西口源作!」

「すると、すると何か、お前はあの頃の親父の從卒だつた源作だといふのか!おい。」

哲也の眼も、源作の胡麻鹽頭から瘦せた頬のあたりを、左官の鏝のやうに、慌しくなで廻した。

(先夜、自動車に轢かれた男だ!何といふ……。)しかし何故かしらそのことまでを、自分の口で言出すことが憚られた。

「へい、もう面目次第もありません。どうか思ふ存分この親爺に唾液でも吐きつけて下さい。旦那。」

「何を言ふんだ、馬鹿な、たが、妙な所で逢つたもんだな。家族はどうなんだ。」

(あの瀕死の娘はどうしただらう。)哲也はさりげなく、さぐりを入れてみたつもりだつた。源作は慌てて頭をつづけさまに下げた。

「あ、旦那、お懷しさのあまり、つひ、うつかりしてゐました。あの節はよくしてやつて下さいました、美代の奴ほんとの兄に逢つたと思つて死んで行きました それに千坊を家へお連れ下すつた方も、旦那にちがひありません。おルミさんも千坊もムラサキさんといふだけで、ムラザキとは申しませんので、つひ氣がつきませんでした。こんな所でまさか旦那のお情に縋らうなどとは……。きつと草葉の蔭で、西口の間拔野郎が!と、大尉殿お叱りのことでせうが……。」

「さうか、大きい方を死なしたか……失禮だが、葬儀の方は……。」

「へい、私を怪我さした自動車のお客が、また物のわかつた人で、私の入院費から、美代の奴の一切を引受けてくれまして、どうにか……。」

源作は面目なげに頭を掻いた。

「ふむ、奇特な客だつたなあんなに轢逃げしたりしておきながら……。」

「へい、何でもあの晩は大連へ急いだので、つひ失禮したがと言つて、四五日後わざわざ病院へお見舞ひ下すつて、內濟にしてくれたお禮だといふので……。へい。」

源作が圖に乘つて續けようとするのを、哲也は言葉を挿んだ。

「何て人だい、全く、當節には珍しい男だな。」

「何でも、寸田さんと申しましたが、あ、さつきここを一寸覗いて行きました、あの人ですよ。黒眼鏡をかけた……。」